

鹿児島市の情報化に関する市民意識調査報告書

平成24年3月

鹿児島市総務部情報システム課

目 次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果	3
1. 回答者の基本属性	3
(1) 性別構成	3
(2) 年齢別構成	3
(3) 職業別構成	4
(4) 地域別構成	4
2. 世帯でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の保有状況	5
(1) 世帯でのインターネット利用率	5
(2) 情報通信機器の保有率	6
(3) 自宅でパソコンを利用してのインターネット接続回線	7
(4) 光回線を導入しない理由	8
3. 個人でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の利用状況	9
(1) 個人でのインターネット利用率	9
(2) インターネットの利用機器	10
(3) インターネットの利用頻度	11
(4) インターネットの利用場所	12
(5) パソコンインターネットで利用するサービス	14
(6) インターネットの利用意向	15
(7) インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由	14
4. 鹿児島市が発信する行政情報の提供方法	17
(1) 行政情報の入手方法	17
(2) 必要としているまたは関心のある行政情報	18
(3) 市ホームページの利用経験及び評価	18
(4) 市ホームページについての自由意見	22
5. 情報化施策に関するニーズ	22
(1) 情報化による市民サービスの利用意向	23
(2) 情報化に対する不安や不満	24
(3) 今後の取り組みに必要なこと	25
(4) 情報化施策についての自由意見	26
III. 参考資料 自由意見	27
IV. 資料 調査票	

I. 調査の概要

■ 調査目的

現行の第二次地域情報化計画の期間終了を平成 24 年度末に控え、本市の情報化のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針となる次期地域情報化計画の策定に活用するため、本市における情報通信機器やインターネットの利用状況、IT 施策に関する市民意識調査を行うもので、第三次地域情報化計画の基礎資料とするものである。

■ 調査対象者

16 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民

■ 対象者抽出方法

住民基本台帳から年齢階層別・性別により無作為抽出

高校生（16 歳～18 歳）を対象に、学校の協力のもと、無作為抽出

	男	女	合計
10 代	107 人	93 人	200 人
20 代	250 人	250 人	500 人
30 代	250 人	250 人	500 人
40 代	250 人	250 人	500 人
50 代	250 人	250 人	500 人
60 代	250 人	250 人	500 人
70 代	250 人	250 人	500 人
合計	1,607 人	1,593 人	3,200 人

■ 調査方法

郵送配付、郵送回収（高校生を除く）

高校生については、学校による直接配付、直接回収

■ 調査期間

平成 23 年 8 月 1 日(月)～平成 23 年 8 月 17 日(水)（高校生を除く）

平成 23 年 12 月 19 日(月)～平成 24 年 1 月 18 日(水)（高校生）

■ 有効回答数

1,584 件(回答率 49.5%)

■ 調査結果の留意事項

- ・ 図表中の N は回答者全員、n は限定された回答者の数（母数）であり、回答率（%）の分母である。
- ・ 回答率は百分比の小数以下第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- ・ 2 つ以上の回答を要する（複数回答）設問の場合、その回答比率の合計は原則として 100%を超える。
- ・ 複数の回答率の総和は、回答者の実数の総和から算出した数値を端数処理しているため、図表中の回答率の総和とは一致しない場合がある。
- ・ 設問によっては、総務省が実施した平成 22 年通信利用動向調査（以下「全国」という。）の結果と比較、分析を行った。
- ・ 設問によっては、本市が実施した平成 13 年度調査（以下「前々回調査」という。）及び平成 18 年度調査（以下「前回調査」という。）の結果と比較、分析を行った。

	前々回調査	前回調査
実施時期	平成 13 年 7～8 月	平成 18 年 9 月
調査対象者	20 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民	20 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民
調査方法	郵送配付、郵送回収	郵送配付、郵送回収
調査対象者数	4,200 人	3,000 人
回答数	1,972 件	1,503 件
回答率	47.0%	50.1%

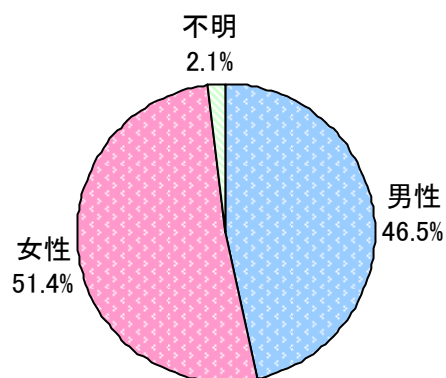
Ⅱ. 調査結果

1. 回答者の基本属性

(1) 性別構成

回答者の性別の比率は男性が約 47%、女性が約 51%であった。鹿児島市の男女別の割合は平成 23 年 9 月の住民基本台帳では 46 : 54 であるためほぼ同じ割合である。

図表 1-1 性別構成

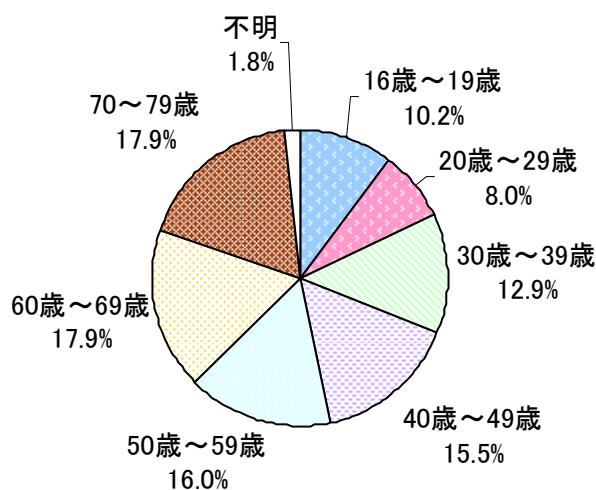


N=1,584

(2) 年齢別構成

回答者の割合のうち 50～79 歳が約半分の 51.8%を占めている。本市における平成 23 年 9 月の住民基本台帳における 50～79 歳の割合 49.1%とほぼ同じ割合である。

図表 1-2 年齢別構成

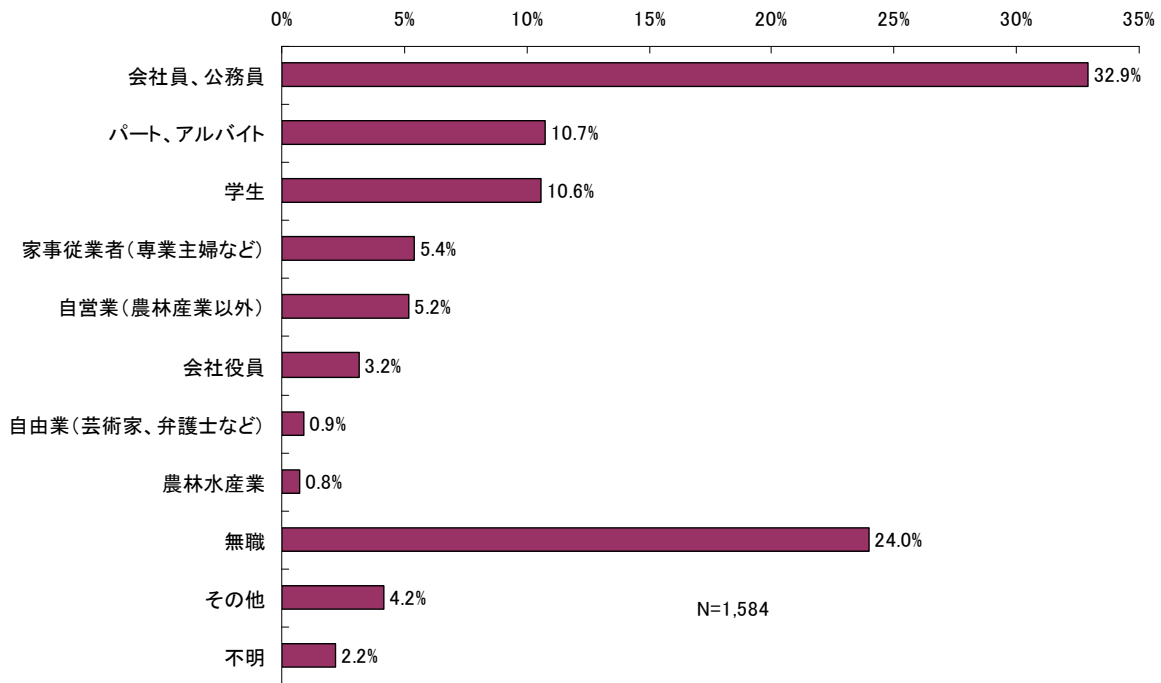


N=1,584

(3) 職業別構成

「会社員、公務員」の割合が32.9%と最も多く、次いで「無職」が24.0%、「パート、アルバイト」が10.7%であった。「会社員、公務員」、「無職」、「パート、アルバイト」の合計で全体の約7割を占めている。

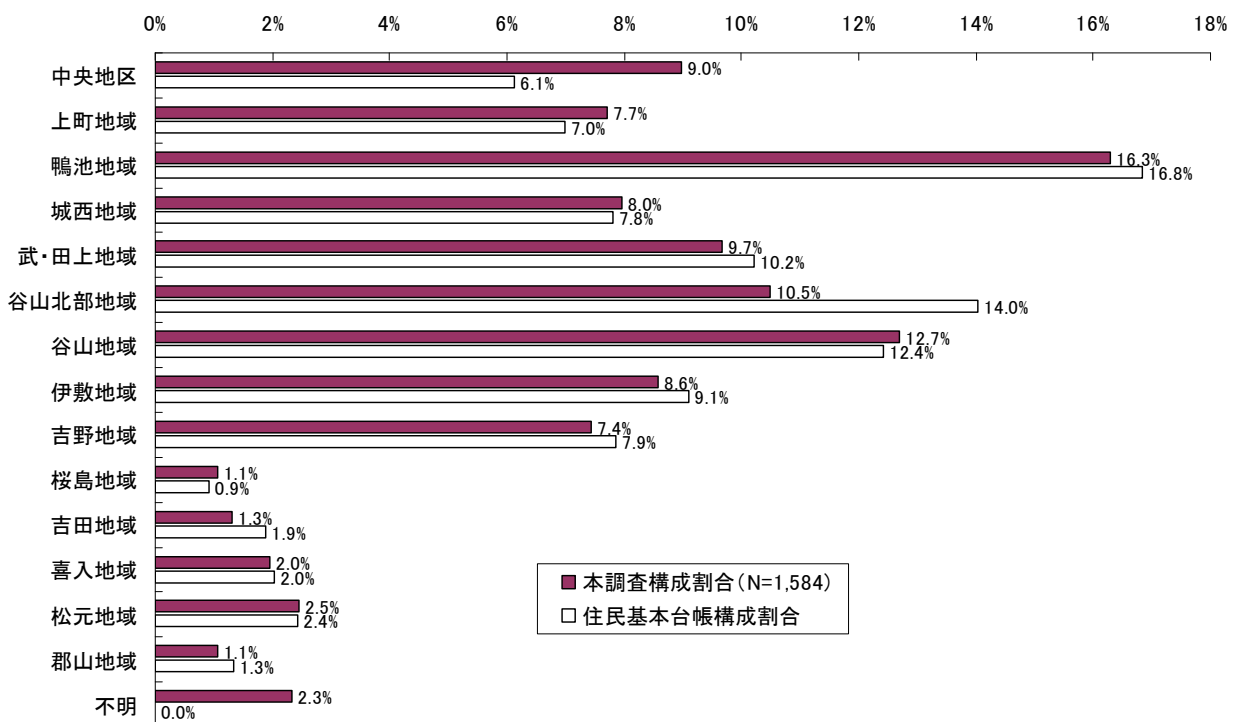
図表 1-3 職業別構成



(4) 地域別構成

平成 23 年 9 月の住民基本台帳の地区別構成と比較すると中央と谷山北部を除き、同程度の構成割合である。

図表 1-4 地域別構成 (本調査と住民基本台帳との比較)



2. 世帯でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の保有状況

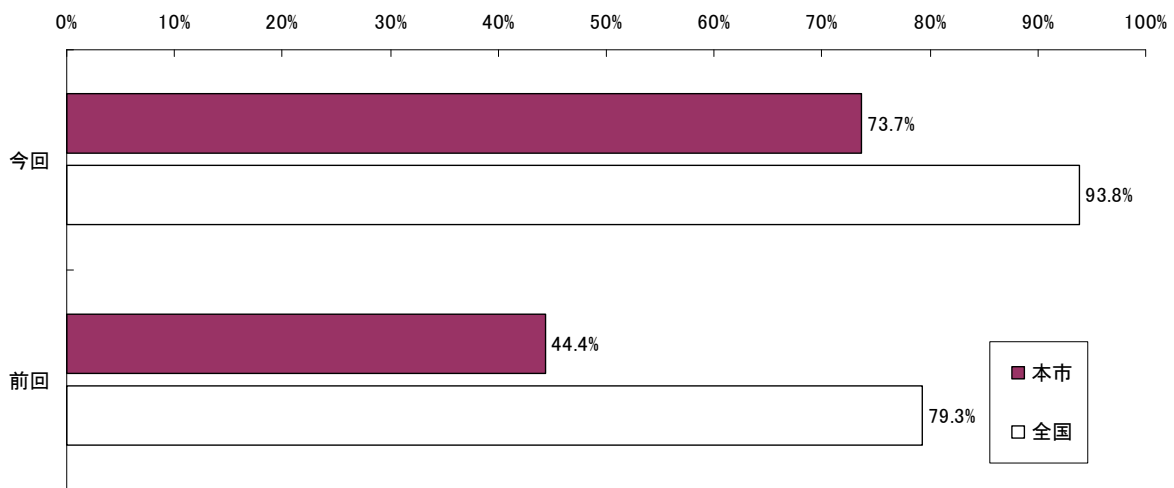
(1) 世帯でのインターネット利用率

問1. あなたの世帯ではご家族のどなたかが過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

インターネットを利用している世帯の割合は、73.7%であった（図表2-1参照）。

地域別にみると、「桜島地域」「郡山地域」は「利用している」が5割を下回っている。（図表2-2参照）

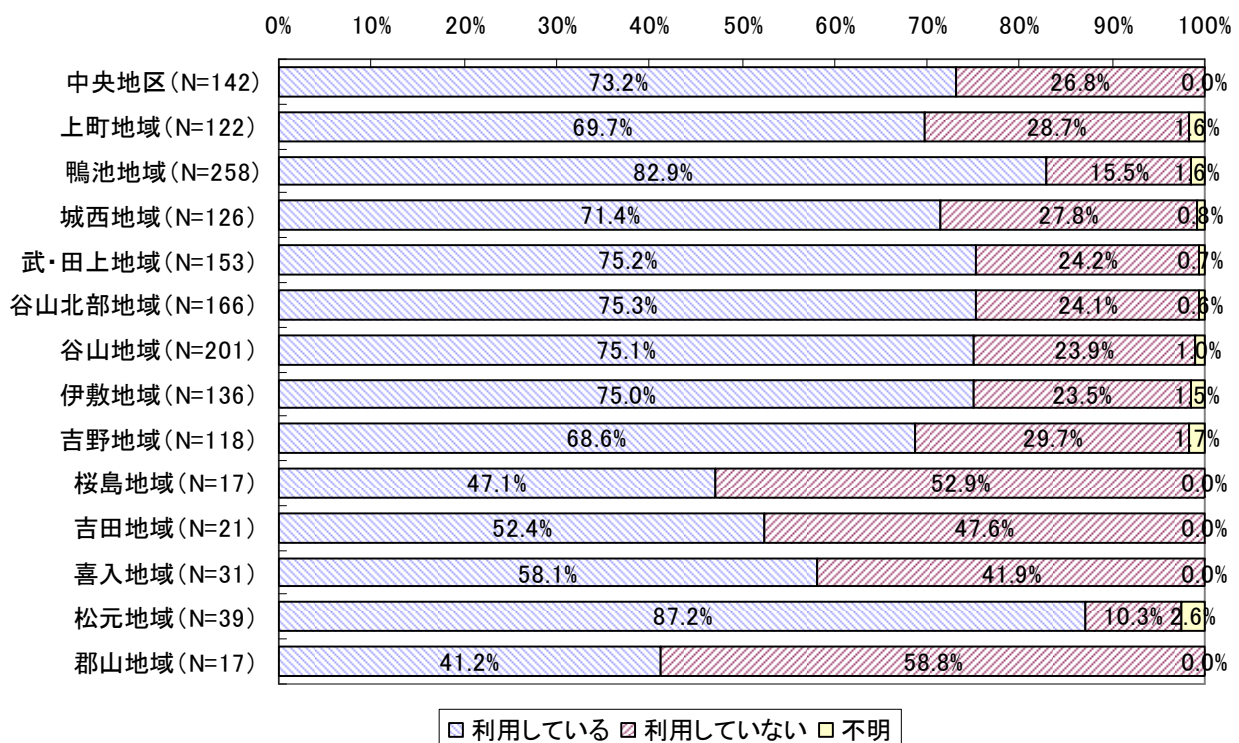
図表2-1 インターネットを利用している世帯の状況



※比較上の注意点

- ・本市と全国の今回の調査「自宅や外出先等あらゆる場所から、且つパソコンや携帯等あらゆる機器からの利用」
- ・本市の前回の調査「自宅でパソコンからの利用に限定」
- ・全国の前回調査は「自宅でパソコンから利用した世帯」又は「インターネットを利用したことがある世帯」への質問へ回答した世帯の割合から算出している。

図表2-2 地域別のインターネットをしている世帯の状況



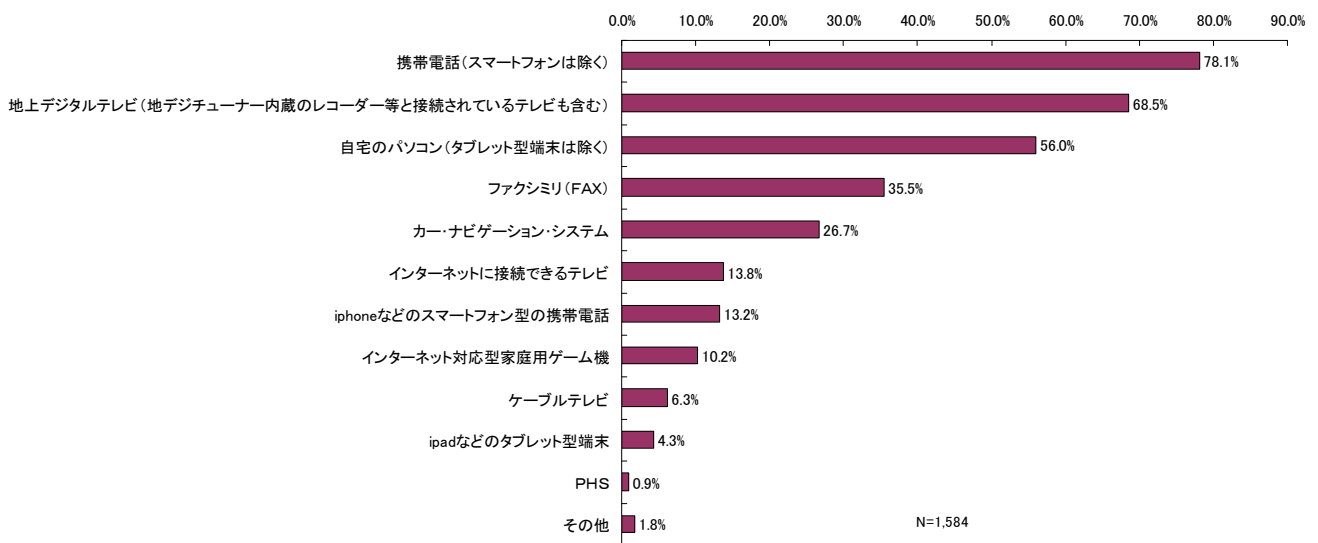
(2) 情報通信機器の保有率

問2 (1). あなたの世帯では、次の情報通信機器を保有していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。(ご家族のうち、どなたかが保有しているものも含めます。) <複数回答>

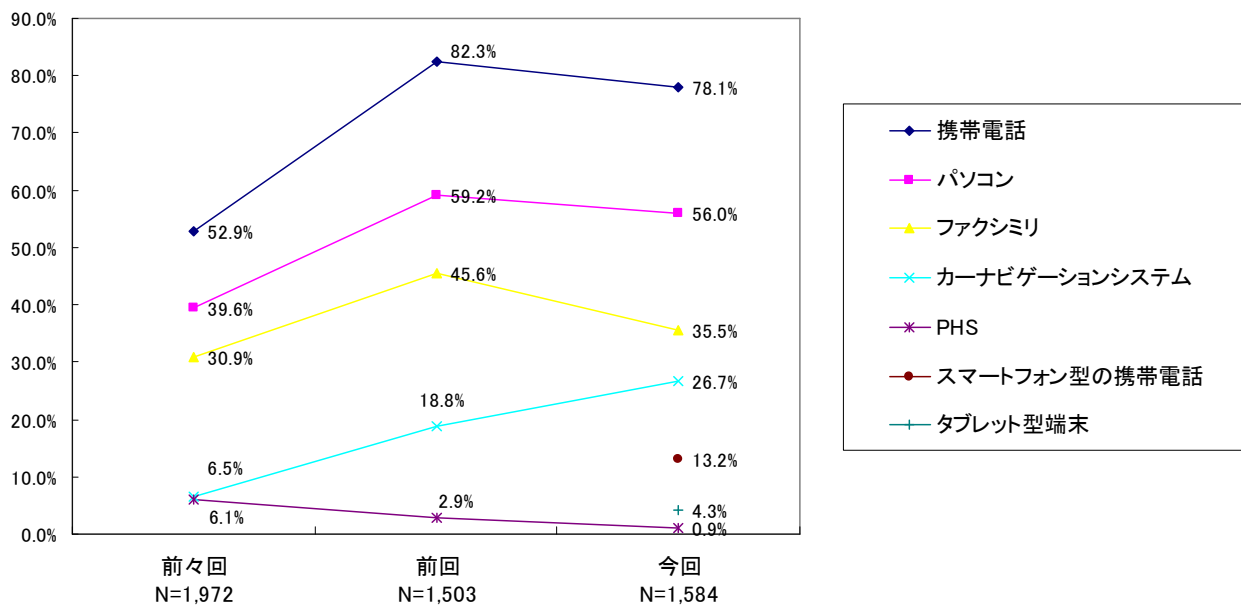
家庭における情報通信機器の保有率は、「携帯電話」が78.1%、次いで「地上デジタルテレビ」が68.5%、「パソコン」が56.0%であった。(図表2-3参照)。

保有率の推移をみると、「携帯電話」(78.1%)と「パソコン」(56.0%)の保有率が前回調査より下降しているが、これは類似の機能を持つ「スマートフォン型の携帯電話」(13.2%)と「タブレット型端末」(4.3%)の普及の影響が考えられ、4つの機器の保有率を合わせた割合(151.6%)は、前回調査(141.5%)より増加していることが分かる(図表2-4参照)。

図表 2-3 情報通信機器の保有率



図表 2-4 情報通信機器の保有率の推移

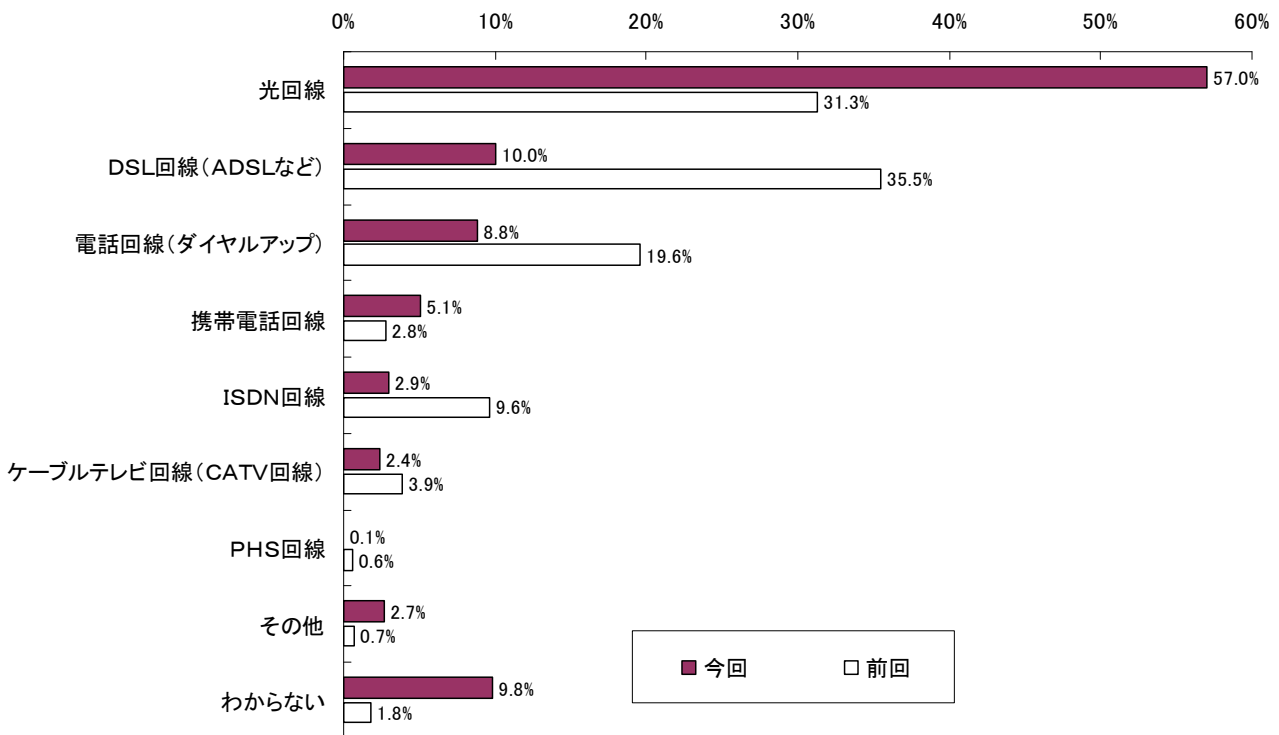


(3) 自宅でパソコンを利用する際のインターネット接続回線

問2 (2). (1)で「1. 自宅のパソコン」を選んだ方におたずねします。「自宅」で「パソコン」を使って、どのような回線でインターネットに接続していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

自宅でパソコンを使ってインターネット接続をする家庭のうち、最も利用されている接続回線は、「光回線」であり、その利用率は57.0%であった。次いで「DSL回線」が10.0%、「電話回線」が8.8%であった。前回と比較してDSL回線、電話回線、ISDN回線が大きく減少し、光回線が大きく増加している（図表2-5参照）。

図表2-5 自宅でのパソコンによるインターネット接続回線



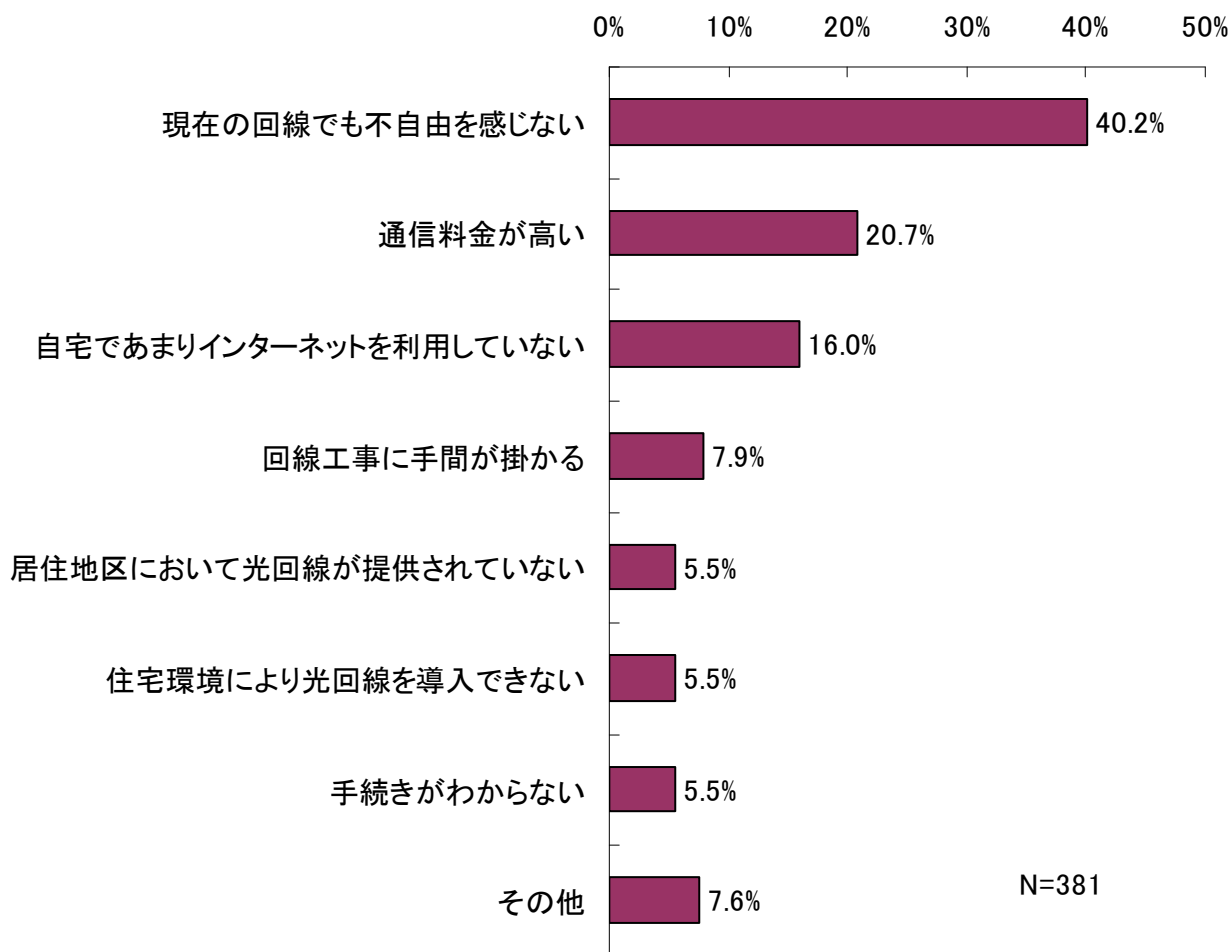
(4) 光回線を導入しない理由

問2(3). 問2(2)で「6. 光回線」を選択しなかった方におたずねします。

光回線を導入しない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

自宅で光回線を利用していない家庭の光回線を導入しない理由は、「現在の回線でも不自由を感じない」が最も多く40.2%であった。次いで「通信料金が低い」が20.7%、「自宅であまりインターネットを利用していない」が16.0%であった(図表2-6参照)。

図表 2-6 光を使わない理由



3. 個人でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の利用状況

(1) 個人でのインターネット利用率

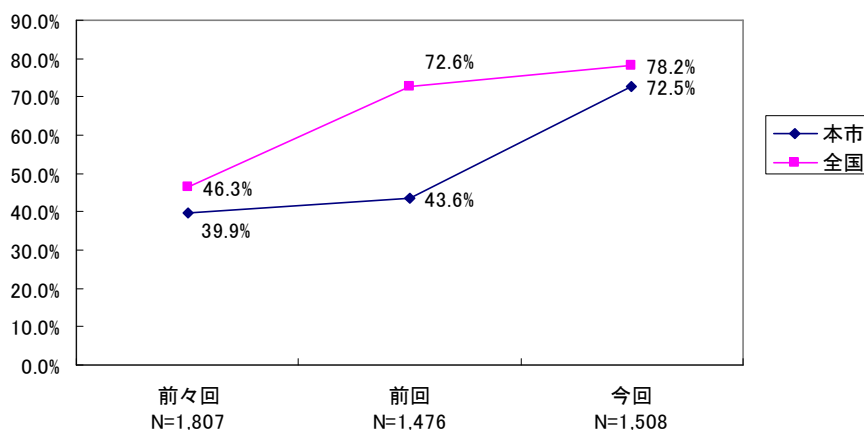
問3. 過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

インターネットの利用状況について推移を見ると、「利用したことがある」は、72.5%であった。全国平均を下回っているが、前回と比較してその差が小さくなった（図表3-1参照）。

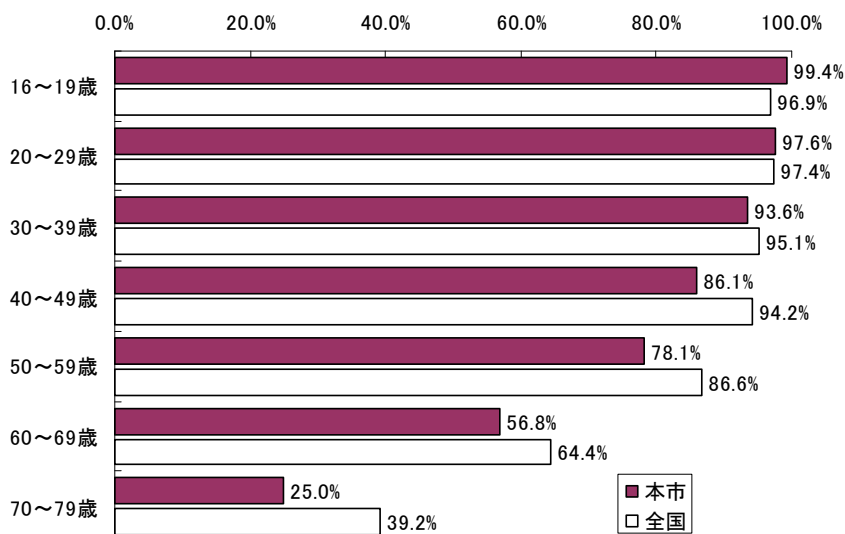
インターネットの利用率について年齢階層別に全国平均との比較を行った。20代以下では全国平均を上回っているが、30代以上では全国平均を下回っており、70代は全国平均との差が14.2ポイントと最も大きい（図表3-2参照）。

※本設問に関しては、全国値が無回答を除く値を用いているため、本市の値も無回答を除いている。

図表3-1 インターネット利用率の推移（本調査と全国平均との比較）



図表3-2 年齢階層別のインターネット利用率（本調査と全国平均との比較）



※全国の「16～19歳」は「15～19歳」の数値を表記している。

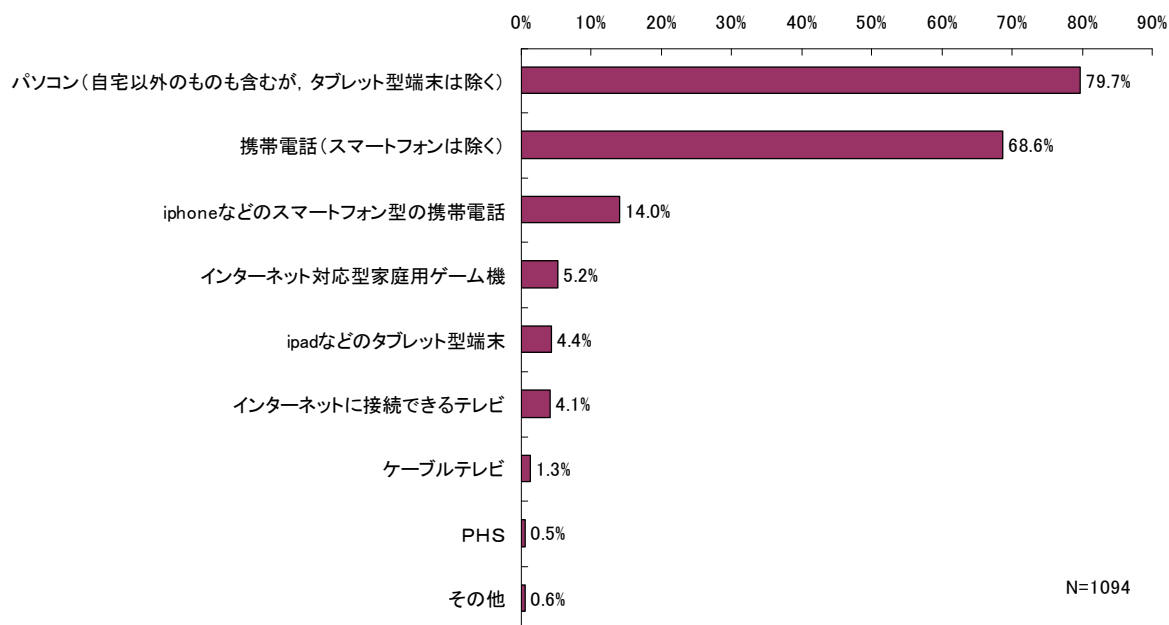
(2) インターネットの利用機器

問4. 問3で「1. 利用したことがある」を選んだ方におたずねします。

(1) 過去1年間に、どのような機器でインターネットを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

「パソコン」の利用率が79.7%と最も多く、次いで「携帯電話」が68.6%、「iphone等のスマートフォン型の携帯電話」が14.0%であった(図表3-3参照)。

図表3-3 インターネットの利用機器



(3) インターネットの利用頻度

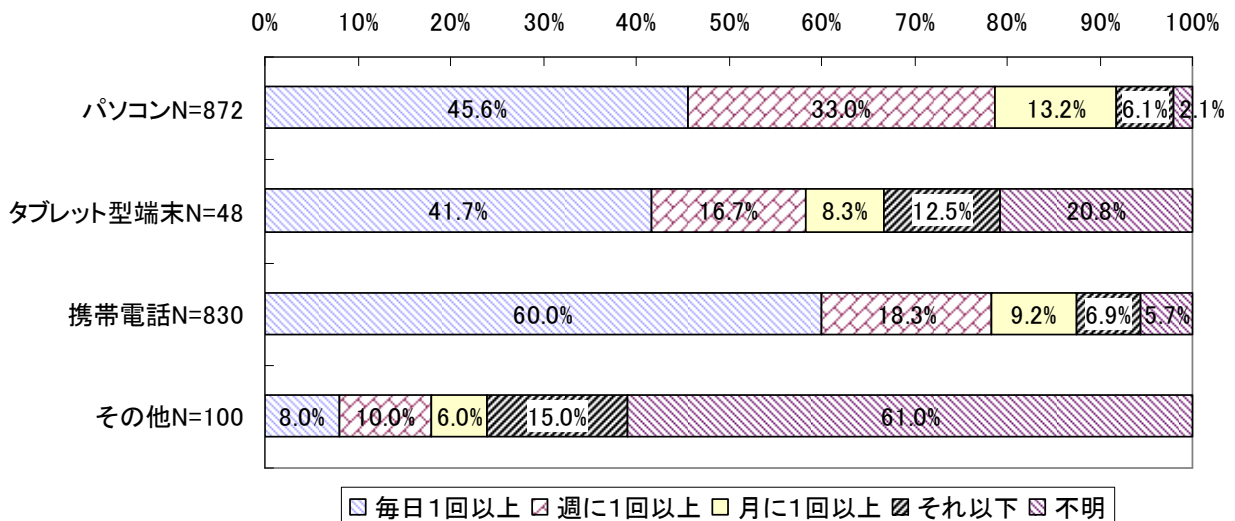
問4 (2). 利用した場所に関係なく、インターネットをどれくらいの頻度で利用しましたか。利用したことのある情報通信機器ごとに、当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

「パソコン」からの利用者のうち、「毎日少なくとも1回は利用」する割合は45.6%であった。またこれに「週に少なくとも1回は利用」する人を加えると、全体の約8割(78.6%)が週に1回以上の頻度で利用していることになる。

「携帯電話」からの利用者のうち、「毎日少なくとも1回は利用」する割合は60.0%であった。またこれに「週に少なくとも1回は利用」する人を加えると、全体の約8割(78.3%)が週に1回以上の頻度で利用していることになる。

「毎日少なくとも1回は利用」する割合だけで「パソコン」と「携帯電話」とを比べると、「携帯電話」からの利用が14.4%多い結果となっている。(図表3-5参照)。

図表3-5 利用機器別のインターネット利用頻度



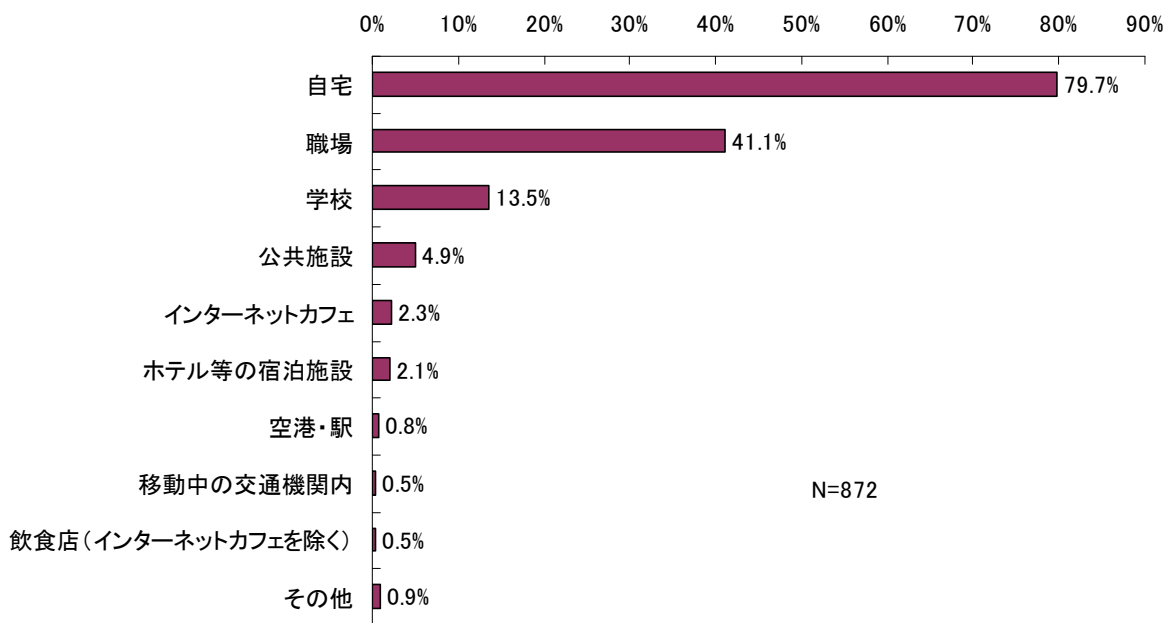
※「携帯電話」にはスマートフォンやPHSを含む。

(4) インターネットの利用場所

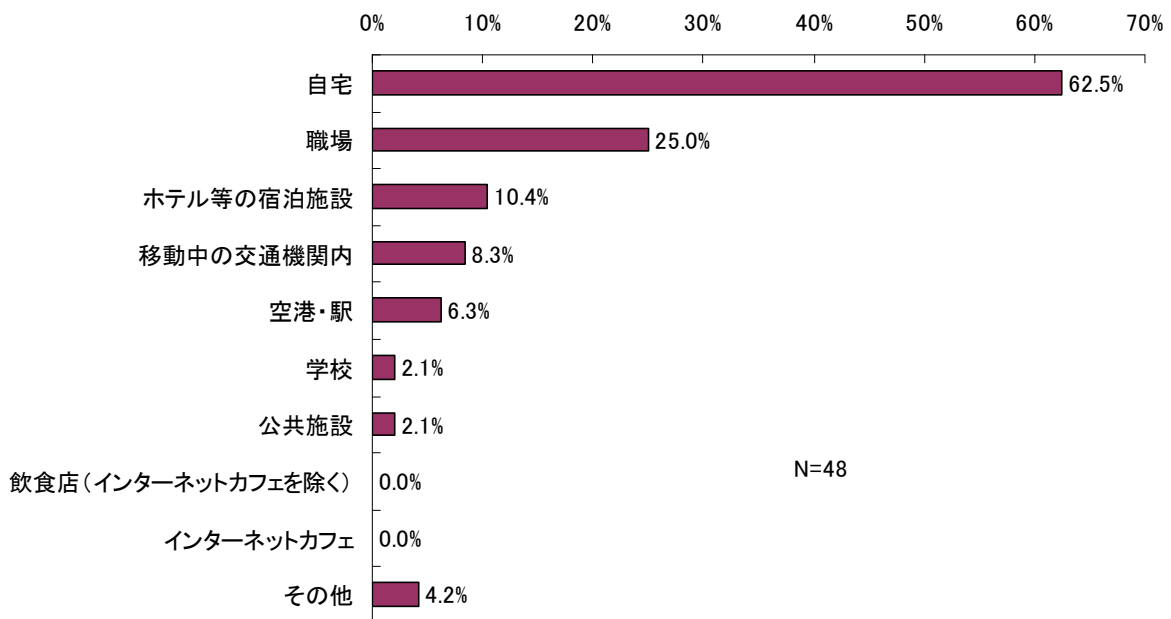
問4 (3). 主にインターネットを利用する場所はどこですか。利用したことのある情報通信機器ごとに、下の1～10の中から当てはまる番号すべてを記入してください。
 <複数回答>

「パソコン」、「タブレット型端末」及び「携帯電話」（スマートフォンやPHSを含む）については、いずれの機器も「自宅」と「職場」からの利用が多いが、「タブレット型端末」と「携帯電話」のモバイル端末については、「移動中の交通機関内」での利用が多いのが特徴的である（図表 3-6-3 参照）。

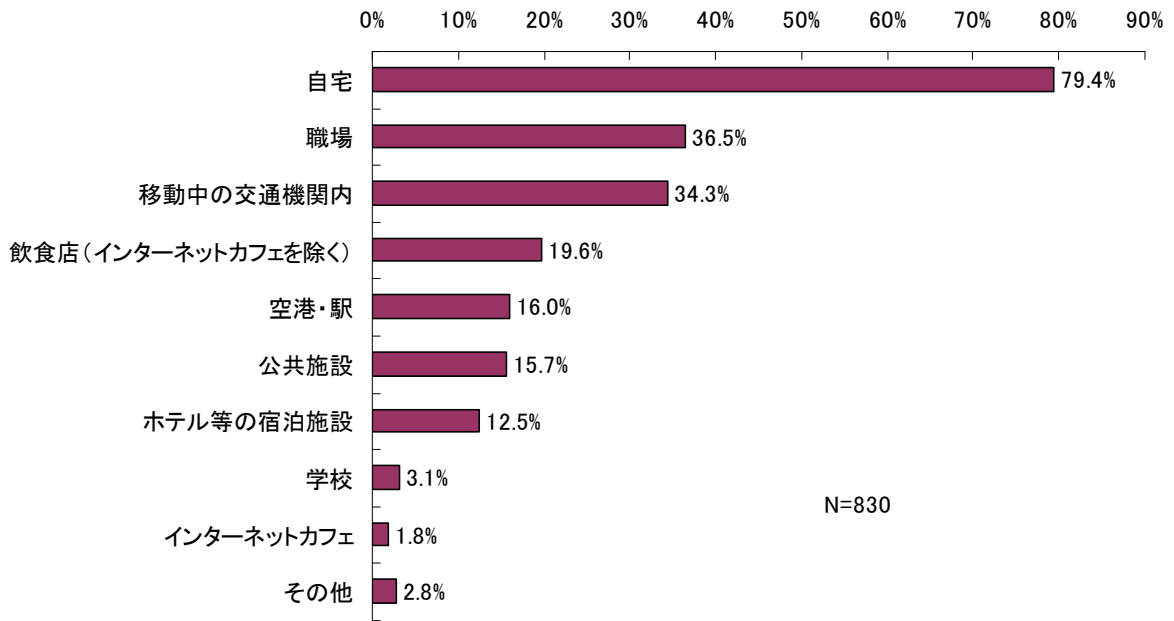
図表 3-6-1 パソコンから利用する場所



問 3-6-2 タブレット型端末から利用する場所



問 3-6-3 携帯電話から利用する場所



※「携帯電話」にはスマートフォンやPHSを含む。

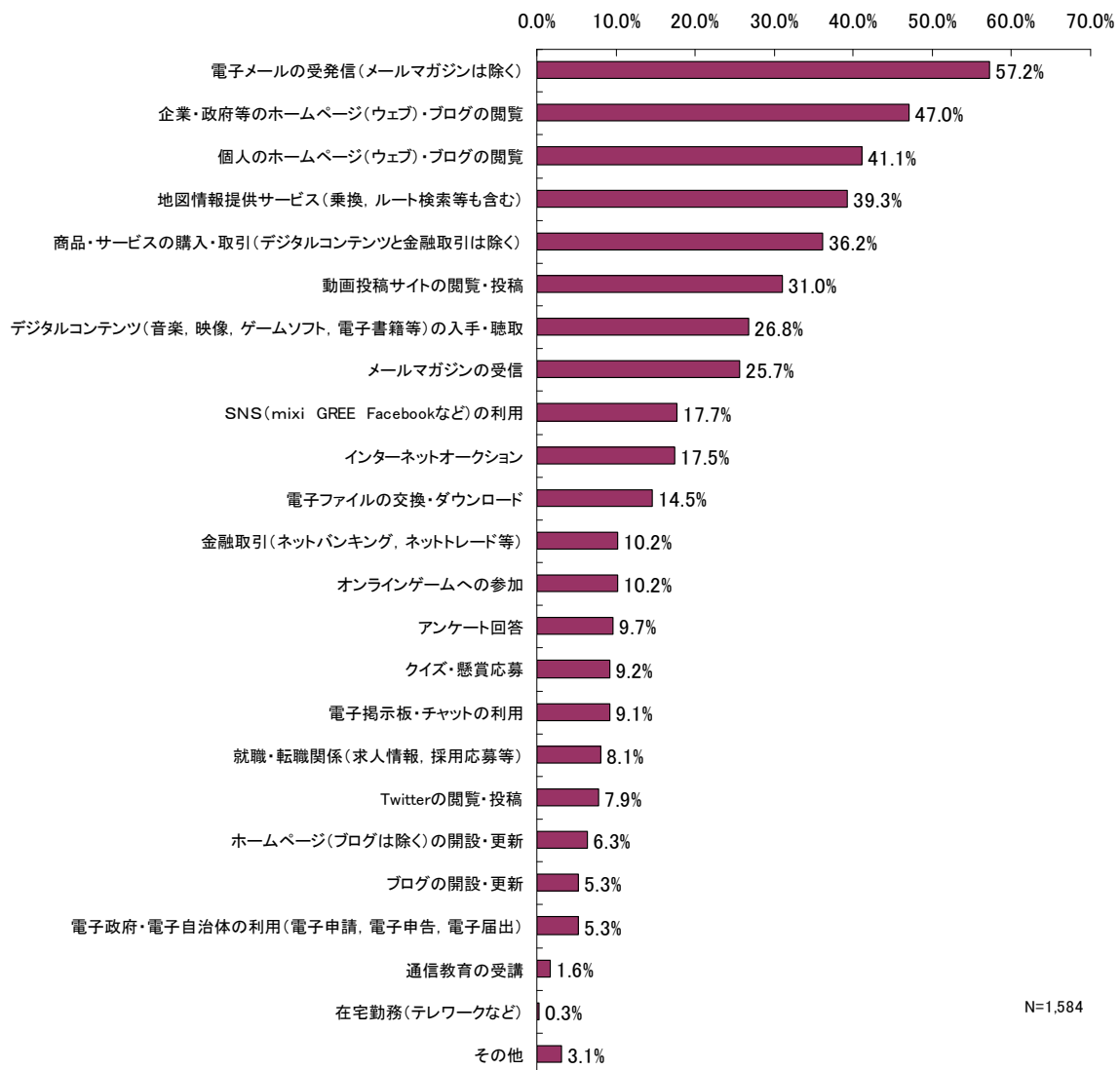
(5) インターネットで利用するサービス

問4 (4). どのようなインターネットのサービスを利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

「電子メールの受発信」の利用率が57.2%と最も多く、次いで「企業・政府のホームページ・ブログの閲覧」が47.0%、「個人のホームページ・ブログの閲覧」が41.1%であった（図表3-7参照）。

年齢階層別に利用率の高い上位5位までのサービスについて見ると、30代以上では全体の傾向と同じである。10代では1位に「動画投稿サイトの閲覧・投稿」(67.3%)が、20代では5位に「デジタルコンテンツの入手・聴取」(43.0%)が入っているという特徴がある（図表3-8参照）。

図表3-7 インターネットで利用するサービス



図表3-8 年齢階層別のインターネットで利用するサービス（一部抜粋）

	10代	20代
1位	動画投稿サイトの閲覧・投稿 (67.3%)	電子メールの受発信 (64.5%)
2位	個人のホームページ・ブログの閲覧 (62.2%)	個人のホームページ・ブログの閲覧 (62.0%)
3位	電子メールの受発信 (59.0%)	商品・サービスの購入・取引 (46.3%)
4位	デジタルコンテンツの入手・聴取 (39.7%)	企業・政府等のホームページ・ブログの閲覧 (44.6%)
5位	メールマガジンの受信 (29.5%)	デジタルコンテンツの入手・聴取 (43.0%)

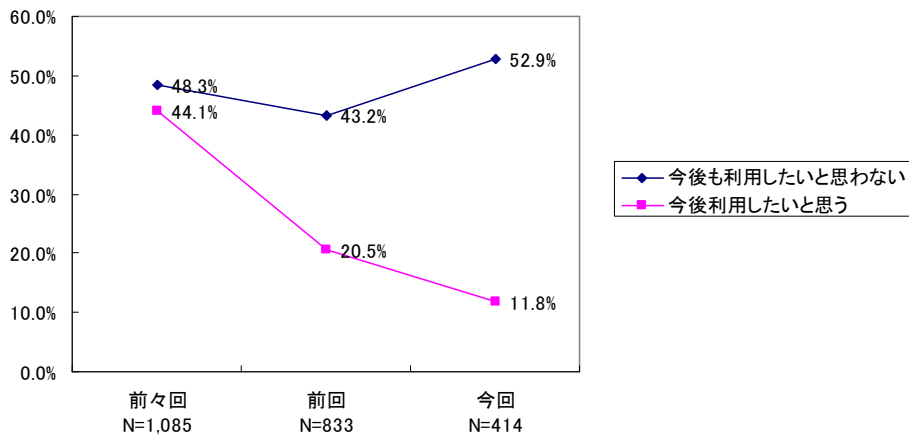
(6) インターネットの利用意向

問4 (5). 問3で「2. 利用したことがない」を選んだ方におたずねします。今後インターネットを利用したいと思いますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈単一回答〉

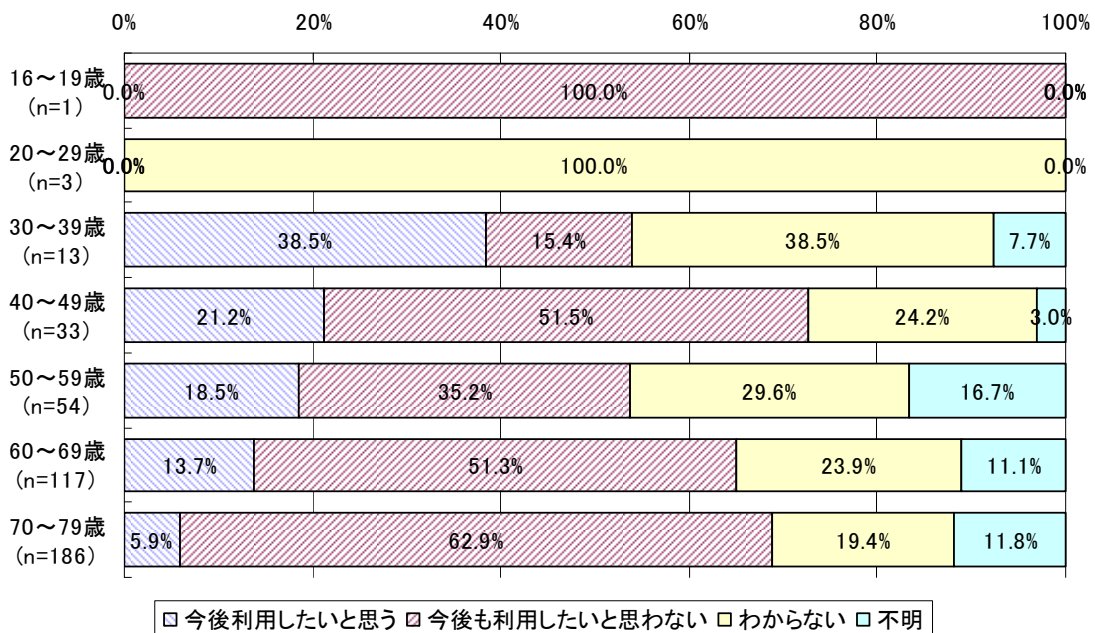
インターネット非利用者のうち、「今後利用したいと思う」が11.8%、「今後も利用したいと思わない」が52.9%で「今後利用したいと思う」を41.1ポイント上回った。前々回から「今後利用したいと思う」人の割合が下がり続けているが、インターネットの利用率が段々と上昇していることから(P9 図表 3-1 参照)、インターネットを利用したいと思っていた人が、既に利用し始めている状態にあるのではないかと考えられる(図表 3-9 参照)。

年齢階層別に見ると、30代以上では「今後利用したいと思う」人の割合が、年齢層が上がるにつれて減少している(図表 3-10 参照)。

図表 3-9 インターネットの利用意向



図表 3-10 年齢階層別のインターネットの利用意向



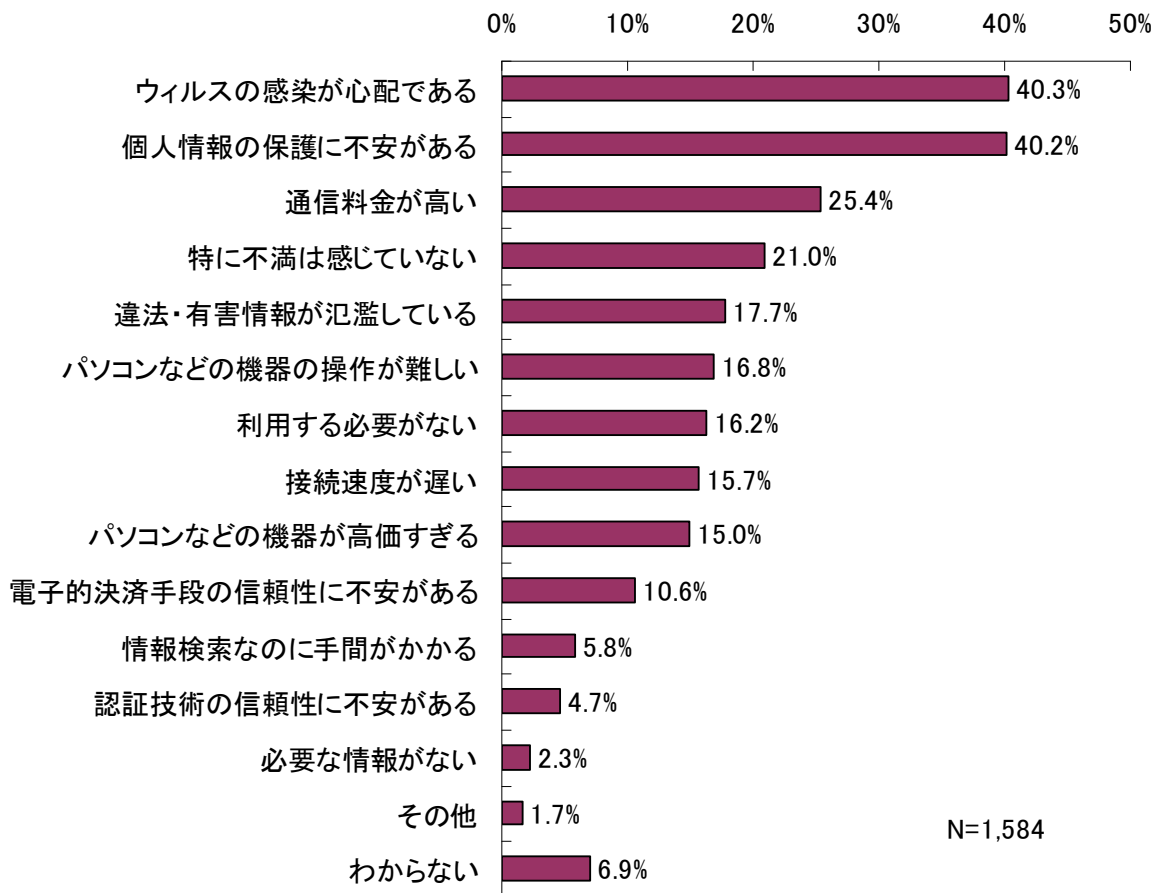
(7) インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由

問5. すべての方におたずねします。インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

インターネットの利用に関して感じる不安や不満で最も多かった理由は、「ウイルスの感染が心配である」の40.3%であった。次いで「個人情報の保護に不安がある」が40.2%であった（図表3-11参照）。

年齢階層別に見ると、10代では「接続速度が遅い」、70代では「利用する必要がない」「パソコンなどの機器の操作が難しい」が他の年代と比べて多くなっていた（図表3-12参照）。

図表3-11 インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由



図表3-12 年齢階層別のインターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由

	1位	2位
10代	ウイルスの感染が心配である (40.3%)	接続速度が遅い (34.8%)
20~60代	個人情報の保護に不安がある (48.5%)	ウイルスの感染が心配である (46.9%)
70代	利用する必要がない (48.1%)	パソコンなどの機器の操作が難しい (22.6%)

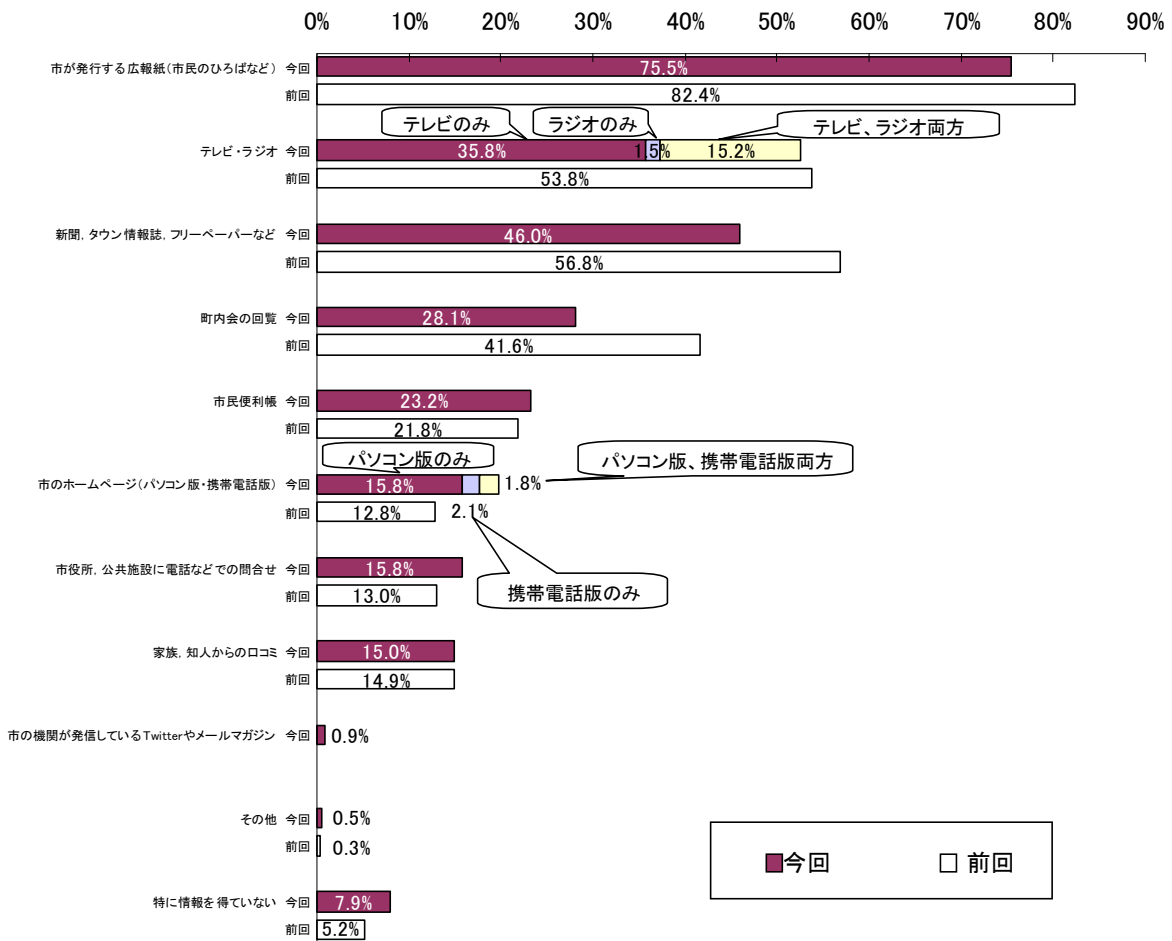
4. 鹿児島市が発信する行政情報の提供方法

(1) 行政情報の入手方法

問6. あなたは、鹿児島市が発信する行政情報を、現在、どのような方法で入手していますか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

鹿児島市が発信する行政情報の入手方法として最も多いのは、「市が発行する広報誌（市民のひろば）」が75.5%で他を大きく上回った。次いで、「テレビ・ラジオ」で52.5%、「新聞、タウン情報誌、フリーペーパーなど」が46.0%であった。従来の紙媒体や放送による行政情報の入手が多いが、市のホームページの利用も徐々に増えてきている状況である（図表4-1参照）。

図表4-1 行政情報の入手手段の状況

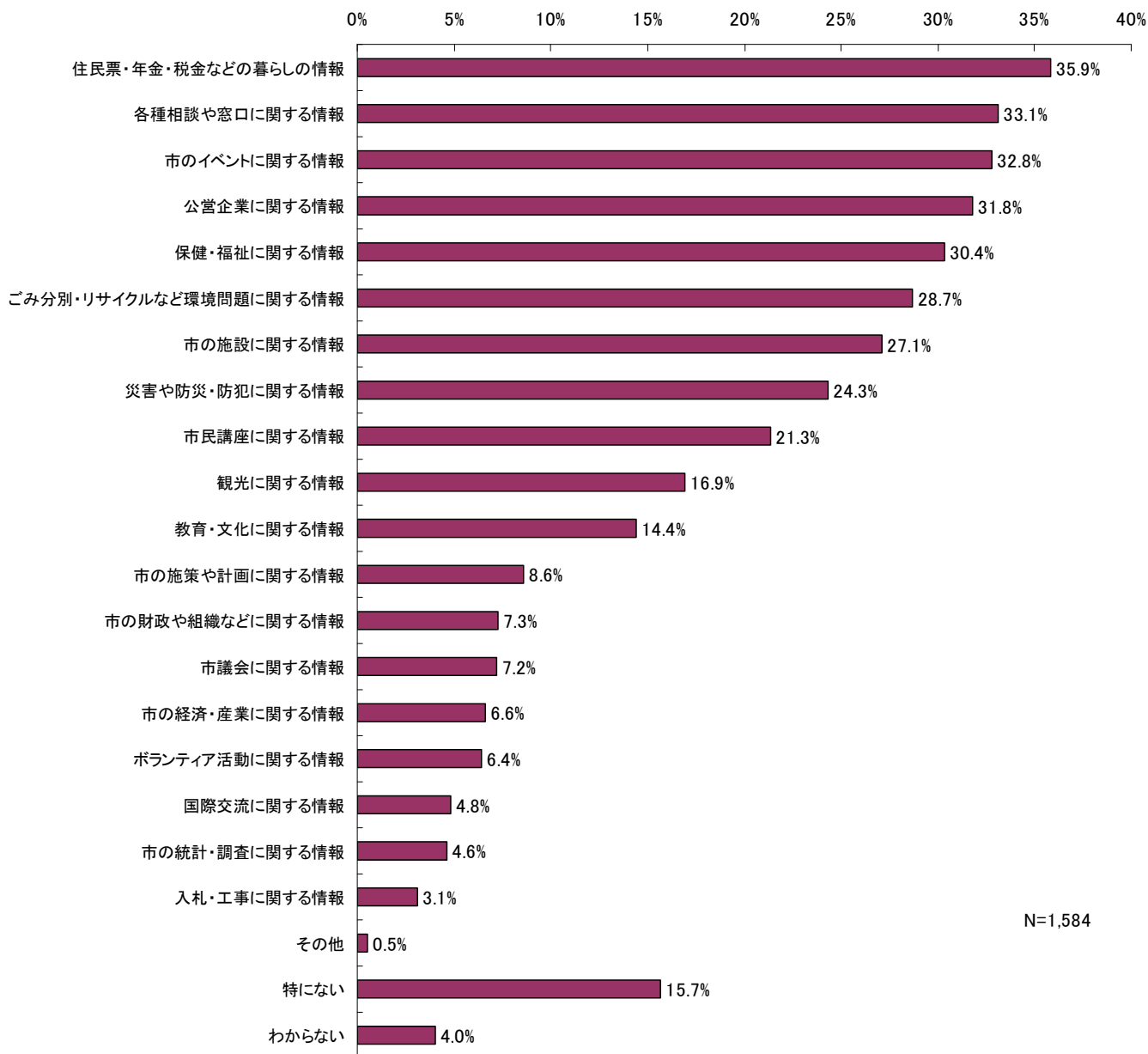


(2) 必要としているまたは関心のある行政情報

問7. あなたが現在必要としている、または関心のある市の情報は、どのような情報ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

「住民票・年金・税金など暮らしの情報」が最も多く35.9%であった。次いで「各種相談や窓口に関する情報」が33.1%、「市のイベントに関する情報」が32.8%であった（図表4-2参照）。

図表4-2 必要としている、または関心のある行政情報



(3) 市ホームページの利用経験及び評価

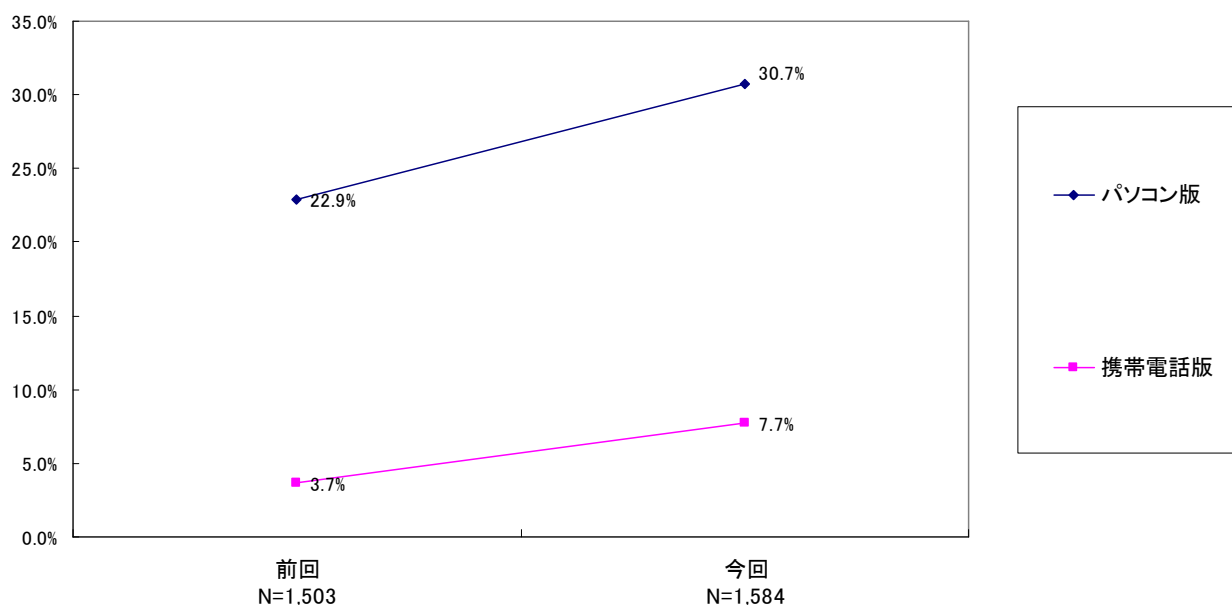
問8(1). あなたは、鹿児島市のホームページを見たことがありますか。「パソコン」、「携帯電話」ごとに次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

パソコン版のホームページの利用経験者は前回調査の22.9%から30.7%へ、携帯電話版のホームページの利用経験者は前回調査の3.7%から7.7%と、パソコン版、携帯電話版とも伸びが見られる結果となっている(図表4-3参照)。

ホームページに対する不満の割合としては、利用経験者のうち、「やや不満」・「不満」を合するとパソコン版が14.8%、携帯電話版は21.3%である(図表4-4、図表4-6参照)。

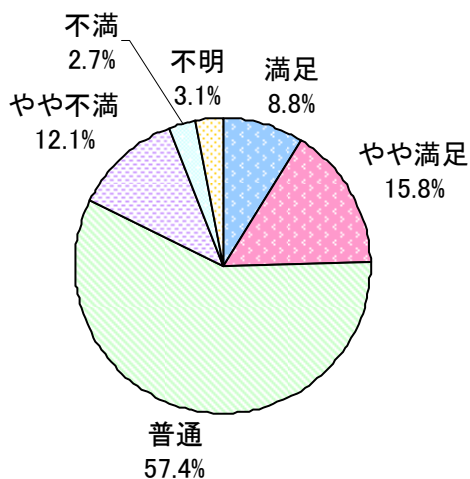
パソコン版、携帯電話版とも不満を感じている理由は、「情報がどこにあるか分からない」と「みづらい」が上位であった(図表4-5、図表4-7参照)。

図表4-3 ホームページの利用経験



問 8 (2). 問 8 (1) のパソコン版で「1. ある」を選んだ方におたずねします。ホームページの満足度について、次の中から当てはまる番号 1 つに○印をつけてください。< 単一回答>

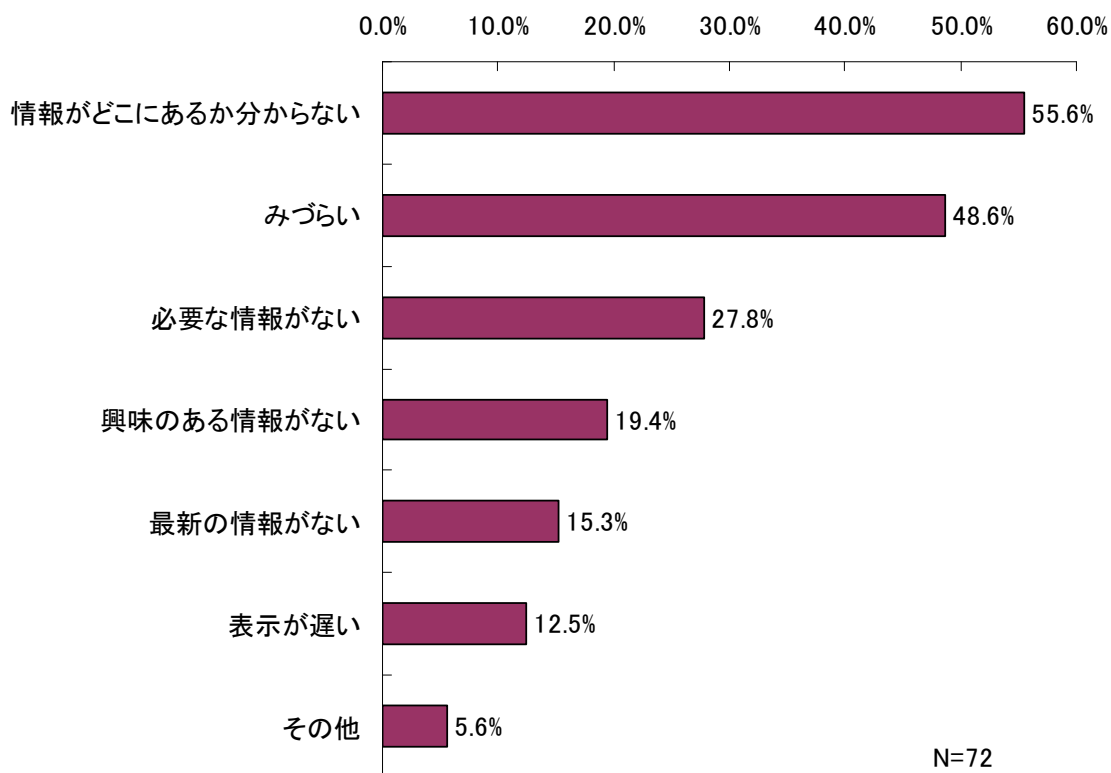
図表 4-4 市のパソコン版ホームページの満足度



N=486

問 8 (3). 問 8 (2) で「4. やや不満」、「5. 不満」を選んだ方におたずねします。満足できない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。< 複数回答>

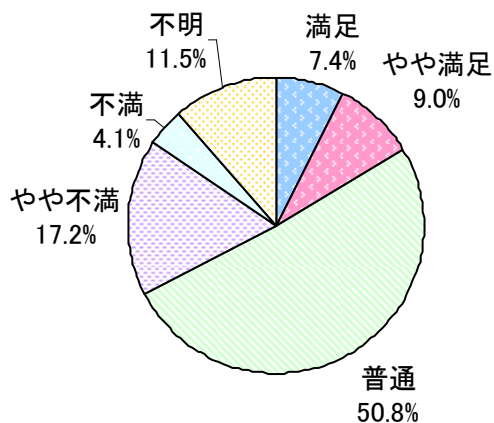
図表 4-5 市のパソコン版ホームページの満足できない理由



N=72

問 8 (4). 問 8 (1) の携帯電話版で「1. ある」を選んだ方におたずねします。ホームページの満足度について、次の中から当てはまる番号 1 つに○印をつけてください。< 単一回答>

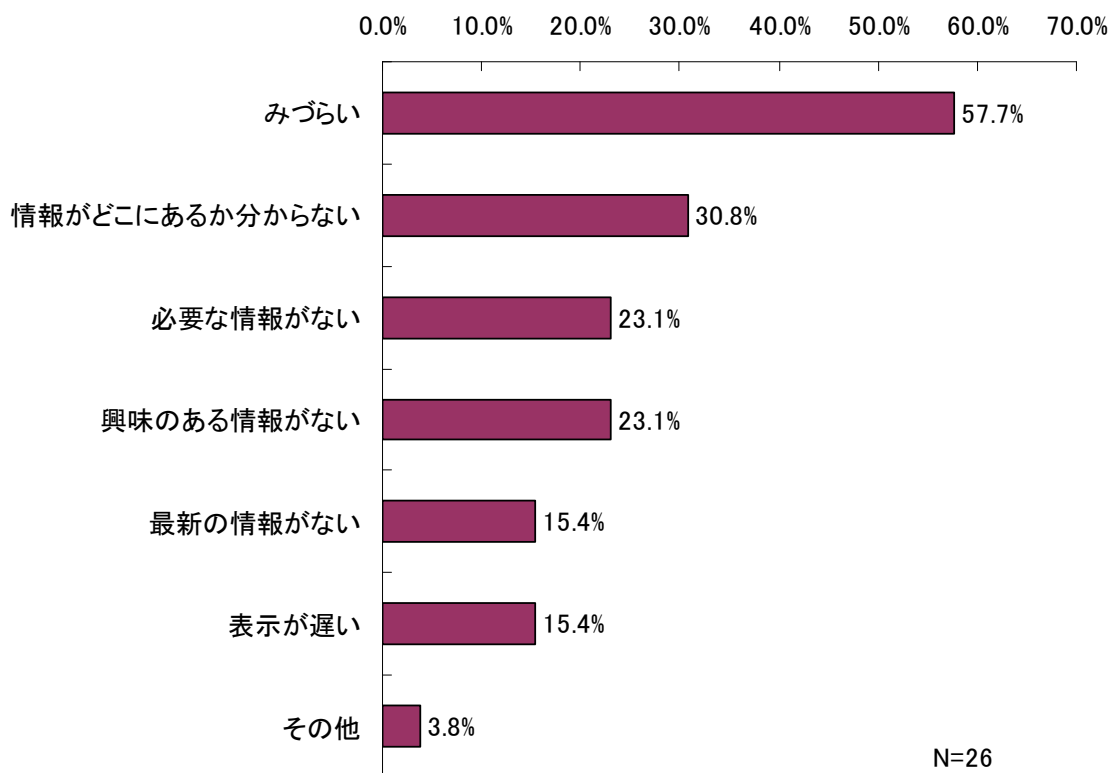
図表 4-6 市の携帯電話版ホームページの満足度



N=122

問 8 (5). 問 8 (4) で「4. やや不満」、「5. 不満」を選んだ方におたずねします。満足できない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。< 複数回答>

図表 4-7 市の携帯電話版ホームページの満足できない理由



N=26

(4) 市ホームページについての自由意見

問9. 鹿児島市のホームページについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。

鹿児島市のホームページについて内容を複数のグループに分類した。探したい情報が見つからない等、操作性や見た目への意見が最も多く挙げられた（図表 4-8 参照）。

ホームページに対する自由意見の内容については、参考資料として27ページ以降に掲載している。

図表 4-8 自由意見の分類

回答分類	回答数
ホームページ全体	4 件
操作性や見た目	32 件
内容	18 件
携帯電話による利用	4 件
その他	25 件
合計	83 件

5. 情報化施策に関するニーズ

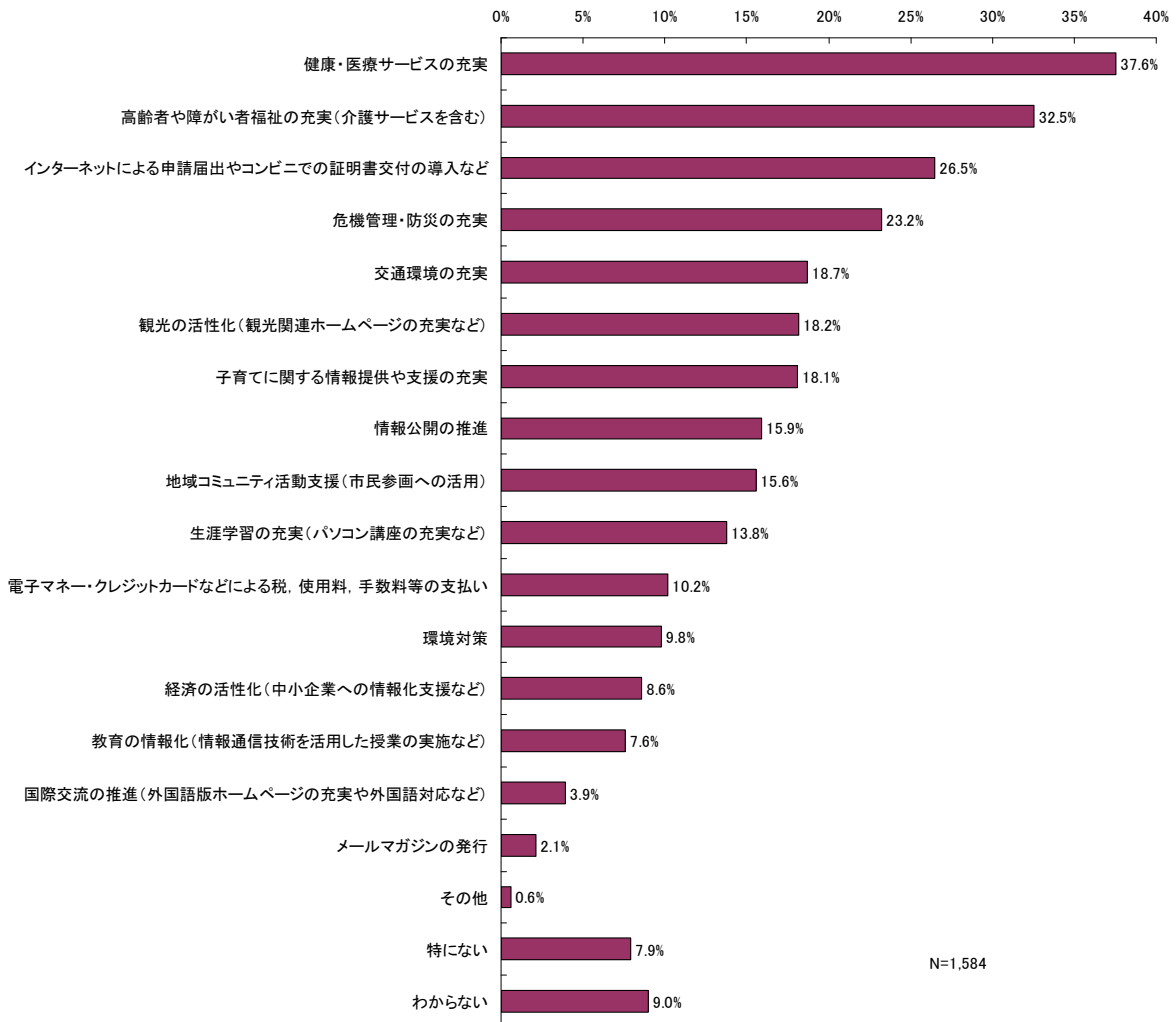
(1) 情報化による市民サービスの利用意向

問 10. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上や地域の活性化を目指しています。あなたは、どのような施策に情報通信技術を活用すべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。〈3つまで回答〉

「健康・医療サービスの充実」が37.6%と最も高く、次いで、「高齢者や障がい者福祉の充実」が32.5%、「インターネットによる申請届出やコンビニでの証明書交付の導入など」が26.5%であった(図表5-1参照)。

年齢階層別に見ると、10代では「交通環境の充実」、20~50代では「インターネットによる申請届出やコンビニでの証明書交付の導入など」、60代・70代では「高齢者や障がい者福祉の充実」がそれぞれ最も多く、年代により意向に差が見られた(図表5-2参照)。

図表 5-1 情報化による市民サービスの利用意向



図表 5-2 年齢階層別の情報化による市民サービスの利用意向

	1位
10代	交通環境の充実(23.6%)
20~50代	インターネットによる申請届出やコンビニでの証明書交付の導入など(39.3%)
60代・70代	高齢者や障がい者福祉の充実(51.9%)

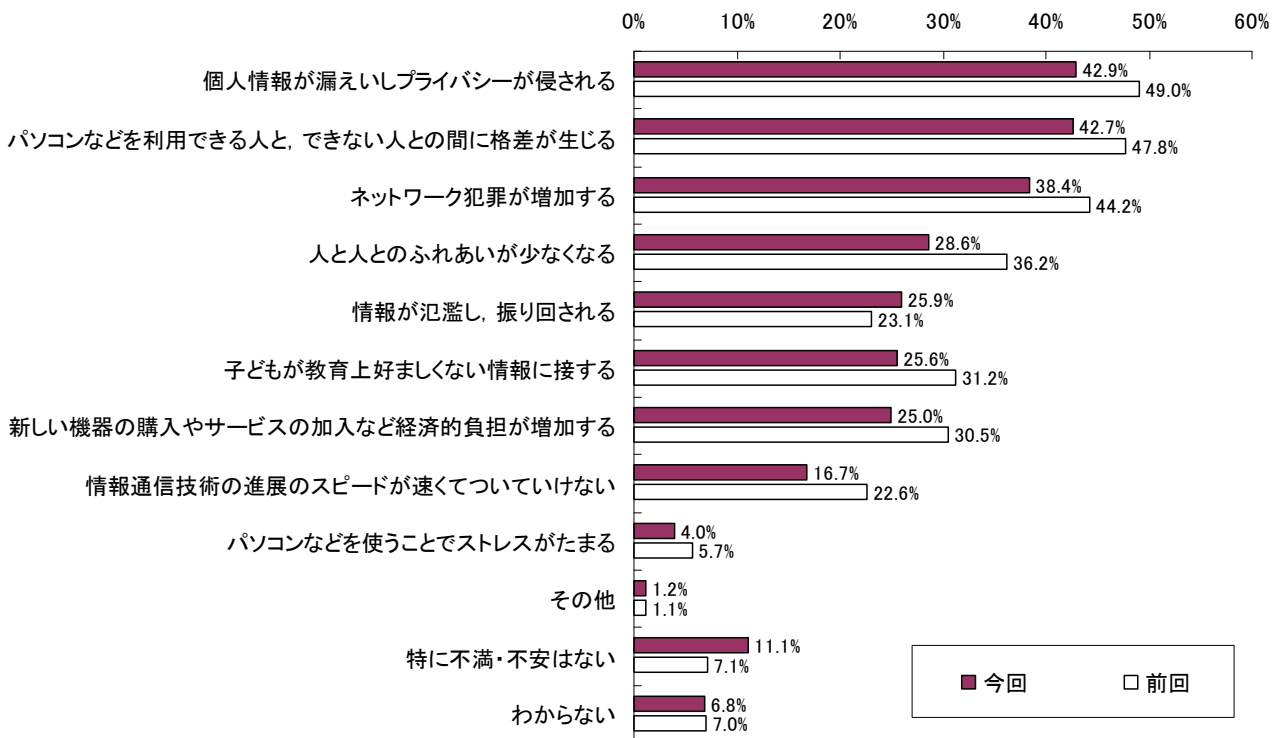
(2) 情報化に対する不安や不満

問 11. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じるがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

「個人情報that漏えいしプライバシーが侵される」が42.9%で最も多く、次いで、「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が42.7%、「ネットワーク犯罪が増加する」が38.4%であった（図表 5-3、図表 5-4 参照）。前回と比較して、不安や不満に対する割合が減少している傾向も見られる。

年齢階層別に見て、最も不安や不満を強く感じているのは、10代は「ネットワーク犯罪が増加する」（41.0%）、20代～40代は「個人情報that漏えいしてプライバシーが侵される」（51.6%）、50代～70代は「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」（46.8%）となっている（図表 5-4 参照）。

図表 5-3 情報化に対する不安や不満



図表 5-4 年齢階層別の情報化に対する不安や不満

年齢階層	1位
10代	ネットワーク犯罪が増加する (41.0%)
20～40代	個人情報that漏えいしプライバシーが侵される (51.6%)
50～70代	パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる (46.8%)

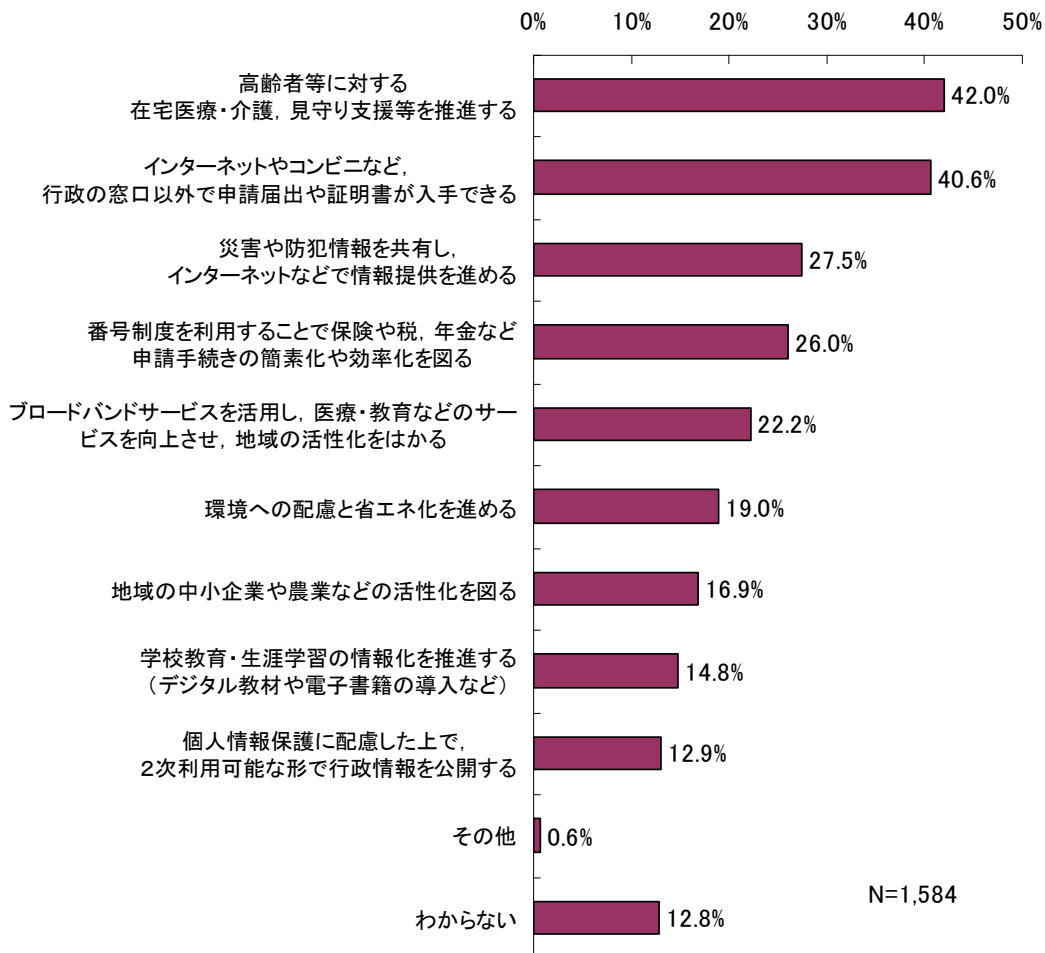
(3) 今後の取り組みに必要なこと

問 12. 現在、国の機関において、情報通信技術を活用した以下の取り組みが検討されていますが、その中で鹿児島市には、どのような取り組みが特に必要だと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。<3つまで回答>

「高齢者などに対する在宅医療・介護、見守り支援などを推進する」が42.0%で最も多く、次いで、「インターネットやコンビニなど、行政の窓口以外で申請届出や証明書が入手できる」が40.6%、「災害や防犯情報を共有し、インターネットなどで情報提供を進める」が27.5%であった(図表5-5参照)。

年齢階層別に見ると、10代では「学校教育・生涯学習の情報化を推進する」「災害や防犯情報を共有し、インターネットなどで情報提供を進める」、20～50代では「インターネットやコンビニなど、行政の窓口以外で申請届出や証明書が入手できる」、60代・70代では「高齢者などに対する在宅医療・介護、見守り支援などを推進する」がそれぞれ最も多く、年代により意向に差が見られた(図表5-2参照)。

図表 5-5 今後の取り組みに必要なこと



図表 5-6 年齢階層別の今後の取り組みに必要なこと

1位	
10代	学校教育・生涯学習の情報化を推進する(33.5%) 災害や防犯情報を共有し、インターネットなどで情報提供を進める(同上)
20～50代	インターネットやコンビニなど、行政の窓口以外で申請届出や証明書が入手できる(55.1%)
60代・70代	高齢者等に対する在宅医療・介護、見守り支援等を推進する(58.1%)

(4) 情報化施策についての自由意見

問 13. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

自由意見に寄せられた意見について内容を複数のグループに分類した。高齢者やパソコン等の情報通信機器を持たない情報弱者へ配慮した施策への意見が最も多く、次いで、情報通信技術を活用した市民サービスの充実への意見も多く挙げられた。

情報化施策に対する自由意見の内容については、参考資料として 32 ページ以降に掲載している。

図表 5-3 自由意見の分類

回答分類	回答数
情報弱者への配慮	45 件
情報化に対する不安・不満	17 件
インターネットによる情報発信の充実	18 件
セキュリティ対策の充実	8 件
情報通信技術を活用した市民サービスの充実	21 件
その他	42 件
合計	151 件

Ⅲ. 参考資料 自由意見

問9. 鹿児島市のホームページについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。

自由意見の内容

【ホームページ全体】

	性別	年齢
リニューアル前よりは断然良いと思う	男	20 歳代
仕事関係で必要なときは hp を使わせてもらいましたがプライベートでは使うことがありません。広い年齢層から見てもらえるような呼びかけや内容の工夫等があればよいのではないのでしょうか。	女	20 歳代
上記にも書いたが、ページによっては粗末なつくりである。情報も最新でない場合もある。問い合わせ先のアドレスにメールを送っても返信は一切ない。返信しないのであれば問い合わせ先アドレスを L I N K しないで欲しい。	男	30 歳代
古い情報が未整理であること。地域情報に地域的格差があり、差別に感じる。特に観光情報はひどすぎる。合併した旧町の扱いが最低。根底から見直すべき。他の地域の観光事業に関わったが、まさか古里がこれとは・・・。	男	40 歳代

【操作性や見た目】

	性別	年齢
鹿児島市に住むもの皆にもっと分かりやすく検索しやすい HP にしてほしい。例えば小さな子どもからお年寄りにも優しい見やすい HP を。	男	20 歳代
整理してほしい。	男	20 歳代
文字が一画面に一気に出てきすぎて、さがしにくい。	男	20 歳代
見やすかったと思います。	女	20 歳代
もう少し分かりやすくして欲しいです。子供もいるので一緒にできるイベント情報などものせて欲しいです。	女	20 歳代
あることについて知りたいと思っても探しつかないことが多い。	男	30 歳代
検索バーに入力して表示されるページが探しにくかった。	男	30 歳代
必要な情報がどこにあるか、本当に分かりづらい（課ごとに情報を載せているせいか？）	男	30 歳代
プルダウン式の項目も追加してほしい	男	30 歳代
もう少しわかりやすくコンパクトにしてみたらよいと思う。（ちょっと見にくい）	男	30 歳代
もっと工夫してください。	男	30 歳代
少しごちゃごちゃしていて、探したい情報がみつかりませんでした。何度か試して、できましたが。	女	30 歳代

<p>ずっと以前に鹿児島市と鹿児島県のホームページを見て、がっかりしてから見ていません。</p> <p>もっと見やすくわかりやすく、鹿児島の特色がパアッと見てわかるようなデザインにしてほしいです。県外の人が見て、鹿児島に行きたいと思わせるような魅力的なホームページを作ってください。十島村のホームページはとても見やすく、ステキなので参考にしてください。</p>	女	30 歳代
<p>専門用語のような言葉が時々出てきて、内容が分かりづらい時がある。</p>	女	30 歳代
<p>トップページの情報が多すぎる。どこに何があるのか、探すのに時間がかかる。パソコン歴 15 年以上ですが、鹿児島市の HP は特に他の HP よりおもしろく、見づらい。</p>	女	30 歳代
<p>前は求めている情報が何局の何かを見れば良いのかわかりづらかったが、少し改善されてきたと思います。県のホームページはひどいです。</p>	女	30 歳代
<p>もう少しスペースをとって見やすくするとよいと思う（特にトップページ）</p>	女	30 歳代
<p>文字情報が多くわかりづらいイメージ</p>	女	30 歳代
<p>もっとカラフルに絵を入れたり。わかりやすく、見やすくしたらいいと思います。</p>	女	30 歳代
<p>ややこみいつている感じがする。高齢者や使い慣れない人たちが情報を検索しやすいようにしたほうがいいと思う。</p>	女	30 歳代
<p>子どもでも楽しくなるHPを作成すると、より親しみがわくのでは。例えば色々なジャンル振り分けを芋や櫻島、黒糖などの絵で分ける、移動に人間（マンガチックで構わない）が動いて開く（見たい所が）みたいな探検しているような感じ。役所役所しすぎてあきるのでもっと作っている人も楽しいHPがよい。</p>	女	30 歳代
<p>図・絵（マンガ）等で、わかりやすく表現したら使用しやすいと感じる。専門用語等を多用していると、その時点で見ることがなくなる。</p>	男	40 歳代
<p>もう少しシンプルでわかり易く</p>	男	40 歳代
<p>必要な情報にたどりつくまでに何回もクリックしないといけない。市民への情報提供の観点から見直してほしい。</p>	男	40 歳代
<p>知りたいことになかなか真っ直ぐ進めない。あちこち探し当てないと分からないように思います。もう少しわかりやすく見やすい環境を整えて頂けたらと強く思います。結局、電話で問い合わせてしまいました。</p>	女	40 歳代
<p>すっきりしていて見やすいと思います。介護保険についてよくしらべますが、Q&A 集が日々更新されるとうれしいです。どんな質問でもよいのでその答えが載っていると介護者として聞ききたいことも聞きやすくなるし調べるのも楽しめ楽しいです。</p>	女	40 歳代
<p>とてもシンプルなページです（携帯）あまり楽しくないです。講座も少ないし、流行らないのでしょうか。</p>	女	40 歳代
<p>ほぼ毎日閲覧しています。更新もほぼ毎日あってこまめにチェックされてるんだと安心できます。さらにもっとわかりやすくなることを期待しています。</p>	女	40 歳代

<p>転勤で来たので、市の活動紹介(ボランティア等)等はよく内容がわかる。どうしてもかたい感じの画面なのでとっつきにくい感じはある。</p>	男	50 歳代
<p>トップページにあまり多くの項目が表示されていて探したい情報がどこにあるのかわからない。 新着情報画面となるような、市民が必要とする情報のアクセス画面を作ってほしい。</p>	男	50 歳代
<p>目的までの検索にややかかる</p>	男	60 歳代
<p>もっと見易くできないか。興味のある情報がない。</p>	男	60 歳代

【内容】

	性別	年齢
子供にも理解できるわかりやすい情報を	男	10 歳代
面白さを求めて子供たちに興味をむけてもらえるようにしてほしい	男	10 歳代
わかりやすい情報を！	男	10 歳代
i-map は仕事上よく利用しますが便利だと思う。 (自分の知りたい情報が)どの課にあてはまるのか分からず結局電話をして聞くことが多い。 市のホームページからツイッター等に連動して最新の情報をアップしても良いと思う。ホームページ上はシンプルにしてツイッター等で情報をどんどん流す。	男	30 歳代
次年度の情報をもっと早く更新してほしい。特に子どもの予防接種など3月の早いうちから次年度の実施日をもとに予定を組みたいがなかなか更新されない。	男	30 歳代
例えばレジャー観光 県外から来る人たちがこのページをよく開くと思うが「たったこんだけなのか?!」と思ったり観光スポットはこれだけなのか?と思ったりはしないだろうか?もう少し具体的にアップするべきではないかと思う。	男	30 歳代
市電、フェリーなどの時間をわかりやすく見られるようにして下さい。	女	30 歳代
就園奨励費について	女	30 歳代
休日の市民サービスステーションの手続きできる内容を詳細に発信してほしい。	男	40 歳代
常にタイムリーな情報提供（発信）	男	40 歳代
頑張ってください。特に教育委員会。ほとんど見る価値なし。みたことない。県教委のホームページはよく見ます。少しは参考にしたら。	女	40 歳代
いろいろな情報が載っており、良いと思うし、役に立つ。他のメディアで、その存在をアピールしてほしい。	男	50 歳代
興味がないが財政状況は心配。県と同じようにいずれ破産する恐れを感じているので財政状況を掲載してほしい。	男	50 歳代
事細かな情報が欲しい（事案例）	男	50 歳代
ゴミ情報が途中で途絶えた。	女	50 歳代
防災対策 地域ごとの避難場所等個人としては何も知らない。マップ等あればいいと思う。	女	50 歳代
良くも無く悪くも無くなのでもう少し皆の興味をひく話題を楽しく紹介してもらいたいと思います。例えば、海外旅行の紹介や国際交流のあり方、草花の育て方等、幅広い分野で紹介や教えていただいたりを期待します。	女	50 歳代
施設等などのガイドに地図があるといいと思う。	男	60 歳代

【携帯電話による利用】

携帯で見れるということをもっと告知しても良いと思う。検索して知った事が多かった。	女	20 歳代
ゴミカレンダーが携帯で見たいです。	女	30 歳代
ケイタイ各メーカーからのお知らせメール等で、重要な事等を自動発信してくれると良いのではと思う！	女	50 歳代
携帯電話版のホームページがあることを、知っている人は少ないと思うので、もっと周知してほしい。携帯版を知っていれば、災害などあった時に助かる人が多いと思う。	女	60 歳代

【その他】

市長にツイッターをして考えを聞かせて欲しい。サンサンコール便利です。トップにりぼん館のタグをつけてみては。そこに子育て支援園もホームページをつくり、Web 上でイベントが見れるといいと思う。あと、クレセールを各福祉館においてほしい。市と社会福祉協会をもっと連携してみてもいい。クレセールはすごくいい。「なかまっち」にはたまにしか行けず、車もないから日頃は地元しか動かないので、車がなくても子育てできる街になれば、小さい時代は子育てに集中できるはずだし、経済的にうくからパートに無理にいかなくてもよいかと思う。福祉館でコミュできた。もっと多くのママが近所で楽しみを見つけられるといいと思う。我が福祉館は指導員のおばちゃんがいいです。	女	20 歳代
大事な税金です。有効に有意義にしようしていただきたいと願っております。	女	40 歳代
今後は見てみたいと思います。	男	50 歳代
市民に対する情報の PR を徹底する。①段々と地域の間関係が薄くなっている（隣りは誰なのか？）②地域の組織化を計る。東日本大震災でよく分かったと思うが、地域（隣り関係）の繋がりが、いかに緊急時には大事ということを感じ知りました。地域によっては町も丁も組織されず首長もいない。誰がこの地域を引っ張っていくのか全然バラバラな地域もある。これでは横の繋がりがなんてできるわけがない。徹底した地域の組織化を計る事を求めます。	男	50 歳代
特別興味のない行政広報はまっぴらごめん、見たくないです。	男	50 歳代
県のホームページ等にはよく接続するが、職場以外自宅ではあんまり使用しないので市のホームページのことを認識していなかった。	女	50 歳代
仕事をしてますと同僚からの情報等もあり、今現在必要とは思いませんが、気になること等あれば自分で足を運び聞くようにしています。	女	50 歳代
職場で仕事上、インターネットを使用することはありましたが鹿児島市のホームページは、見た事はありませんでした。情報機器に弱いので。でも、公共施設で見てもいいかなと思いました。色んな情報があるのではと。	女	50 歳代
もっと自ら調べる知る事に積極的になるべきですね。今後は市の活動等に目を向けてみます。	女	50 歳代
今までホームページを見る必要性がなかった。	男	60 歳代

最近テレビなど又今回の調査何れもホームページとかインターネットとかを利用して下さいで終わっていますがそういう物を利用していない人も多々居ると思われます。(特に高齢者) 誰にでもわかる手段はないでしょうか	男	60 歳代
パソコンをもっていないので新聞などで情報を。載せてもらったように町内会の回覧でもよいのでは。	男	60 歳代
ホームページ以前に、年寄りには情報収集したくとも、パソコン、携帯電話等はどの程度の機器(接続付帯機器を含めて)が最小限必要なのか、月額支払い料金等はどの程度になるのか、年寄りが使用する場合を事例として算出したものを、市の広報誌で掲載して欲しい。それに従って講習会を開いて欲しい。年寄りにはサッパリ解らない機械じゃっど。若者と同一に扱っては理解できず、前へ進めない。	男	60 歳代
ホームページを開くより。現場へ行って訪ねたほうが分かりやすい。	男	60 歳代
高齢者用のパソコン教室を増やしてほしい。	女	60 歳代
視覚障害者の中で点字ができない人が多い。中途が多いのでハートピアからの音声テープがとてもありがたいです。	女	60 歳代
パソコンをする意思のない人(老人)にはホームページが。充実するほど不便になるのではと不安です。	女	60 歳代
ホームページを見る方法が判りません。パソコンを用意するか迷っています。年齢的なものや経済的にも考えてしまいます。用意しても使わなければなりません。	女	60 歳代
毎月発行される”市民のひろば”で十分情報を得ているし、楽しみにしています。大切なところは切り抜き保管し、又何度も読み返すことができるので重宝しています。	女	60 歳代
市への電話問い合わせの方が、要領が得やすい。詳しく内容が聞ける(HPより手っ取り早い)	男	70 歳代
見ていないので特に意見はありません。唯、家族は利用しているはずで、必要なものかと思えます。	男	70 歳代
今更「パソコン」て言う感じです。新聞は特に目を通し、TVの地方放送も関心大です。しかし”ヒマ”な時間にパソコンのページを見たいのは山々ですが。	女	70 歳代
高齢者でも PC が使えるように簡単な PC があれば使用できるのですが、当面は市民の広場を読みます。	女	70 歳代
必要な時は直接聞く事が一番よい。ホームページも見たことがない。	女	70 歳代
市民の広場、町内会の回覧板で充分です		

問 13. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

自由意見の内容

【情報弱者への配慮】

	性別	年齢
学校でもっと詳しくパソコンの使い方を教えてほしい。使える人使えない人の差が大きすぎる。	男	20 歳代
PC 使えない方への情報保証。効率化することも大切だと思うが、使えない方への配慮も必要。(どんなにインターネットが普及しても広報や役所での手続きは今まで通り必要だと思う) PC で手続きを行う際、初めてのわからない方への十分な説明と丁寧な対応。(効率化したいのは役所の都合。初めて使う人、使い方がわからない人に対しての親切な対応。説明は聞きたくない。見たくない) 個人情報の流出の問題。その際はどのような対応をするのか。	女	20 歳代
長寿高齢者に解りやすい情報を公開してほしい。	女	20 歳代
高齢者でもわかりやすい、利用しやすい環境を整備して下さい。	男	30 歳代
情報機器などを使える人と使えない人との差。市内の場所によっては情報(電波)が届かない所もある。	男	30 歳代
地域単位でのパソコン講習やインターネットを体験できる(公民館などで)ようになれば、もっと良さが分かるのではないかな?	男	30 歳代
インターネットを使っている人と無縁の人との間にある情報格差、意識の違いはどのようなものなのか調査して公開して欲しい。	女	30 歳代
私が初めてパソコンを使ったのは、職場でした。それまではオフコンを使っていました。しかし、私の両親はパソコンや携帯電話をよく知りません。使いたいけど壊したらどうしようとか、必要性がないとか、色々理由があるようですが、パソコンや携帯電話自体をよく知らないようです。何度も教えますが、すぐ?顔になります。 年配者にわかりやすいしてくれるとありがたいですね!	女	30 歳代
若い人だけが利用するものではないので、情報化が進みすぎても年寄りについていけないのでは?	女	30 歳代
多くの年齢の方が利用できる、わかり易いシステムの構築、また利用内容のマニュアルの作成。わかっている人間の自己満足による体裁の良いシステムではなくわからない老人などが理解できるやさしいシステムをつくってほしい。パソコンなどの利用説明など専門家などわかる簡単な用語も、一般の人にはなかなか理解しづらく有効な課活用は難しい。易しいシステムを考えてください。	男	40 歳代
申し訳ありませんが、携帯電話でのメールを時々送信・受信すること以外は最新の通信方法を知りません。その為、情報化施策についてのコメントの申し上げようがなく、お役に立てなくて、誠に申し訳なく思っております。お許しくださいませ。	男	40 歳代
利用できる人とできない人に格差がでないようにしてほしい。	女	40 歳代

高齢者が困ることがないように気をつけてほしい。市民の負担（通信料など）がないようにしてほしい。（地デジ化では、お金がかかりました）	女	40 歳代
高齢者に限らずインターネットや通信機器の得意でない方も多くいらっしゃるかと思います。また、直接話して説明してほしいと思われる方も……。そういったところもとりにぼしのないようにして頂きたい。公共機関の窓口の方というのはあまり愛想がよろしくないのが不快になることも多々あります。	女	40 歳代
鹿児島は高齢者の多い地域であり、それだけ住みやすい生活しやすい場所でもあると思います。その高齢者の方々隅々まで情報が行き届くような情報化を目指して下さい。（地域が一体となるような温かさも残してまた便利な通信機器も活かして頂けたら嬉しいです）	女	40 歳代
年齢格差に対する対策を充分考慮の上高齢者に配慮した情報化施策を必要とします。	女	40 歳代
私たち子育て世代としては教育に関する分野で情報化施策への取り組みを充実していただきたいです。格差が大きくなる現在の社会情勢ですので、どの子供にも平等にパソコンなどを使える環境を早急に作り上げていただきたいです。この事が遅れると鹿児島市の行政にとっても大きな損失と考えます。	女	40 歳代
私の年齢でPCしている方は少ないです。この情報化施策が私たちの年齢でも分かる言葉で伝わるよう努力してくださればうれしいです。また子どもたちは市制について興味を持たずに生活しています。高齢者にも若者にも身近な市制をお願いします。	女	40 歳代
我々高齢者にとっては今更新しい機器を取り入れたり勉強したりすることは無理なことです。	女	40 歳代
IT の推進に当たって「地デジ化」への対応と同様機会整備のための国の支援や地域単位での救済等が必要と思います。特に高齢者への配慮が必要と思います。「市政の広場」は大変読みやすく活用していますが時代の流れと共に無くなっていくのでしょうか。	男	50 歳代
言葉自体が難しく理解するにが大変です。分かり易く表示して下さると助かります。今回の用語説明のように。用語説明書ははずしてしまいました。今後のためにもらいます。	男	50 歳代
全市民が平等に情報を得ることが出来るように十分考慮いただきたい。高齢者や子どもたちにおいては自らで通信機器が備えられる家庭も多々あるかと思われま。細部まで検討され、社会からはみ出す格差を作る施策にならないよう願います。	男	50 歳代
パソコンを購入したいが、購入して習っても無駄になるようで購入しない。高価ですので、国民年金では、食べるので精一杯です。	男	50 歳代
高齢者には難しい部分があり、格差が生じるのではないのでしょうか。簡素化はある程度は必要かもしれませんが、現状では無理かもしれません。	女	50 歳代

インターネットにはとても興味がありますが、パソコンを使えない為（持っていない為）あきらめています。やはりお金がかかります。ですから広報紙などでより詳しく教えていただくと助かります。今後はもっと使える人、使えない人との差が出てくるような気がします。	女	50 歳代
年齢が上がると文章を気長に読んだり（視力等が衰えるせいもあり）説明を読み理解したら新しい機器に対応する能力がなくなります。情報化＝パソコン利用ということではないと思いますが、不得手な人も多くいて均等に情報が伝わらないことも考えられます。情報化を進めるのであれば端末操作の説明会など市民が平等にしようできる環境づくりが必要となると思います。	女	50 歳代
便利になる一方でその変化についておけない人々もおります。（わたしもとまどうことがあります）便利になるのはいいことですが、問い合わせの窓口と親切な対応をかならずお願いします。すべての人に優しい施策をおねがいします。	女	50 歳代
子供がインターネットを利用していますが、私はあまり利用しない。	男	60 歳代
一人暮らしの聴覚障害者への情報保障のありかたを考え直してほしい。	男	60 歳代
市民サービス向上につながる情報化施策の普及を期待する反面、情報化による難民（高齢者）等への配慮が必要と感じます。	女	60 歳代
みんなが平等に情報を得られるように工夫すべき。（インターネットを使える人と使えない人との差を埋める）	女	60 歳代
高齢者等でインターネット等利用者は少なく、高齢者は情報化について行けない面が多くある。	男	70 歳代
高齢者はパソコン等の取り扱いができない。鹿児島市の行政情報を知るには「市民のひろば」が常である。ホームページにはどのようなものが掲載されているのか？高齢者世帯を対象とした広報誌とは考えられないものか？	男	70 歳代
高齢のためか、いま新たな情報手段等あまり要望等ありません。	男	70 歳代
①現在のところ、自分自身には特に関係のない世界のことと感じている。②インターネット、IT 関連機器の操作が出来れば思いも異なるかもしれないとも考える。	男	70 歳代
情報化に関しては、色んな分野で日進月歩で進んでいます。使い方、内容を把握できている人と全く判らないでいる人の格差が出て来ていると思います。私の家でも地上デジタルテレビに買い換えましたが、画質が綺麗になりました。しかし、それ以外に何が良くなったか全く判りません。「地デジ」にする必要があったのか？お金を払ってテレビを“買わされた”意味があったのでしょうか！	男	70 歳代
情報化の波に乗れない年配の方々に対する配慮を忘れずに進めて頂きたいと思います。	男	70 歳代
情報機器の操作に関する学習の場を、特に高齢者に与えていただけると有難いと思います。	男	70 歳代
夫婦共パソコンが使用できない	男	70 歳代
孫がパソコン、インターネット他を使っていますが私は携帯電話だけです。何か知りたいときは孫に調べてもらっています。	男	70 歳代

<p>(その他)今は1人で何もかも出来ますが、体が高齢化にいくにつれて、私は唯1人といません。先の事を考えると、友達も信じる人もいません。1人で老いていくのを進んで行くのかと淋しく不安に思います。相談する事になりますが、わずかな人生ですが、現在身内も子もなく唯1人老いていく今日です。毎日1日1日を体をいたわりながら生活しています。先のことを考えるとどうかなるだろうと・・・</p>	女	70歳代
<p>カタカナ用語は理解が困難である。高齢者に理解しやすい言葉で表現してもらいたい。</p>	女	70歳代
<p>情報格差 地域・世代による現象を生まないように進めていってほしいと思います。</p> <p>個人情報 個人情報流出事故に十分注意してほしいです。行政で個人情報を取扱う人たちの意識改善をお願いしたいです。個人情報を託す私達が安心して、情報利用できるように。</p>	女	70歳代
<p>番号制度について、現代社会は色々なものにカード制度になっておりますが(例)銀行等の番号(キャッシュカードのこと)ややもすると忘れがちで年齢を重ねるとともに不安を感じます。以前のように通帳と印鑑持参で窓口のところで記入して、わからなければ窓口の人に聞くなどして時間や手間をかけますが自分で管理できて安全なような気がします。今の世の中何が起きるかわからない。自分で考える力が衰えたときどうなるのでしょうか。人間の一生を考えていただきたい。いつまでも考える力がはっきり働くわけではありません。私は反対です。自分の顔写真と証明するものがあれば理解していただけると、そのような仕組みで良いのではと思います。</p>		70歳代
<p>得意、不得意では世の中に取り残され、学べなくなり、進歩発展にブレーキとなるでしょう。苦手と思い込んでいる人々に教えればいいのです。今や、老人も携帯電話を持つ時代になりました。ネットもPCも同じです。少しずつ必要なポイントだけ教えれば教育すればいいのです。ツイッター等も同じです。マイナス面を恐れては進みません。</p>		

【情報化に対する不安・不満】

	性別	年齢
あまり子供達が外で遊んだり、人との関わり周囲の人との関わりがなく、親も共働きが増えて、子供だけの留守番やインターネット、携帯の普及でイジメも周りに気づかれなかったり親や友達などに何も言えず、ほかの人やネット上の友達しかできなくなってきている気がします。インターネットは、便利な反面怖い事や危ない事も多いと思います。	女	20 歳代
「情報化」と「ふれあい」は別。役所の人とは各公民館といった場所で地区の人と生で話をしたりすれば「税金の無駄」な調査票を年に何度もしなくて良い。	女	30 歳代
市の情報は「市民のひろば」や議会だよりで十分足りてます。フリーペーパーのように読みやすくしてほしい。	女	40 歳代
利用しやすい、わかりやすい工夫をして下さい。	男	50 歳代
インターネットやコンビニなどで、行政の窓口業務代行を行うべきではない（防犯に）	男	50 歳代
市民の利用がしづらい情報化施策はしない方が良い。無理にお金をかける必要はない。	男	50 歳代
鹿児島市が情報化施策についてどんな取り組みをしているのか全く伝わってこない。	女	50 歳代
電子書籍の学校教育への導入については疑問を感じる。学校には大型テレビが配置されているが、そこまで必要性は感じられないと思う。	女	50 歳代
市が情報化を進める事は良い事だと思うが、担当部署以外の職員も内容を把握し、高齢者などのサポートが出来る様体制を整えて欲しい	男	60 歳代
市の情報は、新聞・市民の広報誌等の紙面上、そしてテレビ・ラジオでも十分に得られているし、内容も詳細ですから、情報に関しては不自由していません。これからも市民のひろばで入手します。今のままで充分です。	男	60 歳代
TVやラジオで入る情報でインターネットで世界に配信して悪いことをしている人間にははらわたが煮えくりかえります。こんなのはなくなった方が良いです。私は古いかもしれませんが、昭和の時代に戻るべきだと思います。私の意見です。以上	女	60 歳代
市の情報は様々な手段で知らせてもらっていると思います。でも、それらの情報を市民として活用していないと今回のアンケートで思いました。仕事をしているので【問い合わせたい】と思ってももう時間外ということもあるので、情報を得た人が更に情報をえるための手段をインターネット等以外で作ってほしい。また、出した情報に対して市民がどのような意見を持っているかということに関心を持ってほしい。多くの人が意見を持っていても身近に伝える手段を持っていなかったり、意見を言うことを忘れてるので！！	女	60 歳代
常に正確で迅速な情報提供をお願いしたいと思います。	女	60 歳代

<p>市役所・支所以外で証明書発行が出来る場所で無料で、パソコン閲覧ができるのですか？料金等が気になると、検索もするかどうかわかって迷って、結果、面倒になり、何も見ないような気がします。</p> <p>「市民のひろば」も見るのに目が疲れやすいと、なかなか開かないです。(字が小さくて)</p>	女	60歳代
<p>私は造園の仕事に従事しています。S53年に東京より帰鹿し現在になります。44年この仕事をし、手書きで図面(庭)を書いていました。今はパソコンで・・・。</p> <p>30年以上帰鹿して、この緑に対する市民の意識の薄さには、ほとんどあきれ返ります。家を大きく作り、庭などありません。庭造りはほとんどなく庭師(植木屋)ではなく剪定屋と名を変えざるをえません。パソコンがあれば色々な情報が分かっているなあとは思いますが・・・。</p>	女	60歳代
<p>パソコンの導入により仕事の効率も上がるし、情報の収集・発信事務処理など市民の役に立つことなのでとても良いと思う。しかし個人情報もれた場合の怖さや情報を受け取る側の不便さもある。それは各家庭にパソコンがあるわけでもないし、あっても上手く利用出来ない人もいる。国の政策でもそうであるが低所得者(生活保護や補助を受けられないギリギリの人)にとっては何かしら経済的負担が大変である。高速道路のETC車載器や地デジ化によるテレビの購入などがそうである。パソコンの購入もまだまだ高いし買ったとしても通信費など負担が大きい。新たな鹿児島市の情報化施策が市民の負担無く便利になるのであればとても良いことだと思います。</p>	男	70歳代
<p>市内の小学校にテレビやパソコンが配置されているが、ある教室やない教室があるようだ。導入後、学校側に丸投げではないか。学力や生活力の向上に役だっているのか？疑問です。</p>	男	70歳代

【インターネットによる情報発信の充実】

	性別	年齢
<p>国会答弁はすぐテレビで見れるが、市議会の答弁は見れない。</p> <p>市議の公開の内容をホームページから見たい。</p>	男	20歳代
<p>市のホームページが使いにくい。検索のし易い画面に改善するべきである。市民が必要としている情報を簡単に入手できるような工夫が必要。</p>	男	30歳代
<p>子育て中の者ですが、現代は地域のつながりが少ない社会です。「幼稚園探し」でも、ブロードバンドの口コミを活用しました。どういう所か？とか知りたくても聞ける人がいないんです。マンション生活は特に。りぼん館などにパソコンを数台おくと、かなり子育て生活している人とか助かると思います。パソコンはまだ「ぜいたく品」とみなされ、家計から削りがちなので、よくパソコンほしいけれどって声をききます。</p>	女	30歳代
<p>市民に新しい情報等を、親しまれる情報を発信してください。</p>	女	30歳代
<p>不審者情報とか事件があった事など子供の安全に関わる情報は早く欲しいので、警察などと連携してメールなど送ってほしい。</p>	女	30歳代

年令的に申し上げると介護サービス、医療関係、納税についての詳しい解説と対応の仕方など、年金に関する情報も欲しいです。	男	40 歳代
3月11日の震災後、ボランティアや物品提供に関する情報がすくなかった。 (市役所、ボランティアセンター共に) 障害のある子の就学に関する情報がない。不登校(児)支援に関する情報は、適応指導教室及び、訪問指導案内までいねいにあるが。障害のある子は、どういう教育をうけられるの。どの学校にどういう特別支援学級があるの?どこに相談すればいいの(就学時、転入時)情報がえられません。	女	40 歳代
一方通行・自己満足のみで終わらず、更に地域・企業情報を多く取り込み配信願いたい。	男	50 歳代
全ての分野を見たわけではありませんが、生活に関連した必要な情報が揃えられていることに感謝しています。こうした情報が揃えられる事を、これまで以上に活用できるよう期待しています。	男	50 歳代
google の検索のようにもしかして・・・のようなヒントがあれば嬉しい。自分の知りたい情報に早くたどりつけるかなと思います。	女	50 歳代
ホームページを利用させていただいていますが検索時に少し不自由を感じています。もうすこしわかり易く興味を持てるようにしていただければと思っています。ご検討をよろしくお願いします。	女	50 歳代
保健所や捨てられた犬や猫達の飼い主が一匹でも見つかるように犬や猫達の写真を掲載出来たらと思います。動物好きの私としては熊本の保健所を見習って欲しいと思います。	女	50 歳代
介護、福祉に関する情報や保険、年金等の情報は自動発信にてメールで見れるようにして欲しい!	女	50 歳代
現在、職場以外でパソコンを使用しないので携帯電話での情報収集しか出来ません。携帯のホームページの充実を希望します。	女	50 歳代
環境と市づくりのために、地域毎の大気汚染の変化状況とその解析等の数値情報を日常的に発信する等、市民生活の向上にむけての具体的活用法を図っていくことが肝要であると考えます。	男	60 歳代
図書館をよく利用しますが本の在庫確認がネットで可能だと良いです。どの公民館にあるのか、貸し出し可能か、知ることが出来ればありがたいなと思います。各市営施設がイベント書き込み担当するページがあってもいいと思います。雇用対策はハローワークが中心かと思いますが、市内に関してだけの就職セミナー等の情報公開があると良いなと思います。	女	60 歳代
ゲリラ豪雨や多雨のとき、甲突川の〇〇橋、××橋付近の水位等を HP でリアルタイムに見られるようにしてほしい。	男	70 歳代
都市と違い、家族で出かけて楽しい場所が少ない場所なのでもっといろいろなイベント等の情報配信をして頂きたい		

【セキュリティ対策の充実】

	性別	年齢
セキュリティーには万全を期してほしい。情報が悪用されないようにしてほしい。(本人確認など)	男	30 歳代
・企業での情報の漏洩がニュースに出たりしますが、市がそうになってしまうと大変な損害および信用を失ってしまうので十分に対策を取って欲しい。 ・番号制度については反対です。個人情報保護、人権上あまり良い考えとは思いません。業務上での処理の改善を先に考えるべきだと思います。	男	30 歳代
個人情報保護に努めていただきたいです。	女	30 歳代
問題が発生しないようにしっかり対策して欲しいです。	女	30 歳代
何度も記述します。 郵便局の配達員が投函を間違ったのが一番悪いですが、開封して(他人(マンション内のどこかの家庭)が開封)他人が返還されてました。明らかに固定資産内容は知られてしまいました。個人情報の洩れそのものだと思います。上記問12の2が良策!	女	40 歳代
情報技術の向上は望ましいが、情報化によるサービス向上には賛美両論あるかと思う。ネットワーク犯罪や市のデータもパソコンに管理されていることも多い中、ウィルス侵入によるデータ流出などどこまで防げるかが問題になると思う。データ流出ともなると、信用性、情報化の在り方、様々な問題が山積みとなってくる。市がどこまで対応できるか、考えてしまう。	女	50 歳代
違法な情報や有害情報の流通、情報漏えいなどに対応する、安心して安全な情報環境の構築を進めていただきたい。	男	60 歳代
平日なかなか休みがとれないので申請届出や証明書がコンビニでもできる様になると助かります。ただ個人情報の保護にはしっかり努めていただき安心して活用できるものにしてほしいです。	男	60 歳代

【情報通信技術を活用した市民サービスの充実】

	性別	年齢
Rapica 等のケータイへの導入、おさいふケータイ化	男	10 歳代
市内の学校のパソコンを iPad にかえてほしい	男	10 歳代
学校に iPad 導入を	男	10 歳代
行政窓口以外で証明書などが入手出来るようになれば、交通の便が悪かったり、忙しかったりしてもとても便利だと思います。	女	20 歳代
個人に ID 番号を振ればその番号で全ての情報を出せるので事務処理が簡素化するのでは？ ID カードみたいのを作成しなければならないが・・・	女	20 歳代
行政手続きがインターネットから誰でもわかりやすい形で手続きができればよい。	女	30 歳代
税金の口座引き落としの申し込みをパソコンから簡単に登録できると良いと思う。インターネットバンキングのように、月々いくら引き落とされるのか等を出先でもチェックできると利用者も払い忘れが減ると思う。支払い期日近くになると、メールなどで支払い日と金額を知らせてもらえるとより助かる。	女	30 歳代
図書館に自由に使えるパソコン（インターネット）が導入されたら便利だと思います。県外図書館では自由に使えるパソコンがあり一日 2 時間まで無料で楽しめるサービスがありました。	女	30 歳代
住民票など申請届出、証明書の入手方法をもっと簡潔にしてほしい。	女	30 歳代
問 10 と同じで全て必要と思うが私個人としては年令的に活用はしない。	女	40 歳代
市役所は待ち時間、駐車場のことを思うとなかなか足が向かない場所です。（車移動が主ですので）簡単な書類ならもうすこし手軽に扱えるようにするととても良いと思います。ネットがこれからは大切になると思うのでわかりやすく親しみやすい鹿児島県のネットサービスができるとうれしいです。	女	40 歳代
今、どこでどんな災害が起こるか分からない環境になっていて、鹿児島でも東日本大震災のような想像もしない災害にみまわれるかもしれない…と考えたりします。いろんな事を想定して、もしそうなったとき、私達市民にいち早く情報が届き、どうしたら良いかが誰もが分かる様なシステムが出来れば良いなと思います。	女	40 歳代
行政にたずさわる人、住人（市民）とのふれあいがある情報化であってほしい。	男	50 歳代
市民生活の向上、行政の効率化の為に毎年度改善されていくことを期待しています。	男	50 歳代
最近市役所で申請（住民票）を行う機械がありましたが、すごく時間がかかります。情報化を図ることで、申請等を簡素化・効率化もしていただけると助かります。	女	50 歳代
窓口に行かなくても、身近に住民票等が入手できれば・・・	男	60 歳代
情報化施策をすることで、人件費やムダが省けるようにすすめて	女	60 歳代
番号制度の導入により脱税防止や業務の効率化を進めることが必要。ただしパソコンなどを利用できない人が置き去りになることが心配。	男	70 歳代
安価で皆が参画しやすい情報化施策を希望します。	女	70 歳代

<p>上記1. 2. 3. 4の推進をお願いします。 各戸パソコンの配給と使用に伴う教育があれば、よりスムーズにできるのではないかと思います。</p>	女	70歳代
<p>政府は6月、社会保障と税の一体化に併せ、「社会保障・税番号大綱」をまとめた。わが国には国や地方自治体（都道府県・市町村）民間機関が所管する数多くの個人に関する各種番号がある。しかし複数の機関が個人の情報を同一人物であるとして確認できないために国民にとって様々な不便や非効率が生じている。基礎年金番号制が導入される以前から年金番号はあったが年金以外につかわれることはないのでは？番号を年金だけでなく健康保険や納税、住民票の管理につかったならば情報確認に大いに役立つと思う。統一的な個人番号導入に力を注いでほしい。「プライバシー保護」だけでなく個人情報を真に必要なときに限って活用できるようにすることを望みます。</p>	女	70歳代

【その他】

	性別	年齢
税金は大切に使って下さい	男	10 歳代
相談したい事、どこに行けばいいのか案内を詳しくだしてほしい。	男	20 歳代
鹿児島を盛り上げて全国一の県にしてください。	男	20 歳代
とても難しいアンケートでした。私は、アンケートは全部勤でいく方です。	女	20 歳代
情報化については是まで特に意識していなかったが、この調査を機会に更に改善充実へ努め、意見・要望が正しくできるように頑張りたい。	女	20 歳代
今回のアンケート実施に意味があると思います。高齢化が進む鹿児島で、また日本経済政治の流れの中、地域の地元の行政の方向に関心があります。鹿児島独自に進められること、自給率の対策を進めて欲しいと思う。★第一産業（農畜水）の割合が高い鹿児島は東北、関東の生産地のバックアップとしての供給も考えて、休耕田はもったいないと思う。高齢化が進み、過疎化が進む中、村として相続できない地域もある。反して、都市圏では仕事がなく、生活の糧を悩む若者もいる。過疎化が進む農村・漁村の地域で都会の若い家族を受け入れ、地域の活性化をすすめてほしい！※具体的には地方の空いている家を市町村が買い上げ、都会からの若い家族を対象に提供し、農業・漁業の仕事を教えながら地域社会でバックアップする仕組みが考えられないか！	女	20 歳代
子どもの医療費を中学生まで無料にしてほしい。	女	20 歳代
本人は施設入居者であり、認知症あるため本人の意のままであれば「わからない」と全てなる。市への希望としては、たて割でなく、住民票を変更したら（住所変更）その窓口で、全ての変更出来るとありがたい。窓口をまわらなければならぬ。又、何の変更（手続き）が必要なのか教えて欲しい。知らずに利用できないサービスも多々ある。	男	30 歳代
環境・省エネ化を進めるにあたり助成金の増額を望む。	男	30 歳代
このアンケート自体が経費のムダにならないように	男	30 歳代
一人暮らしで糖尿病ですので、カロリーの低い料理をしてくださる所があれば紹介してください。すみません。	女	30 歳代
特記事項なし	女	30 歳代
誠に無理とは存じ上げておりますけれどもバス停にどうしても椅子が必要です。役所（市）の管轄でしょうか。でしたら、何卒宜しくお願い申し上げます。固定椅子が大丈夫かと思えます。勝手なことを書面でご免くださいませ。失礼致します。	男	40 歳代
この同一内容で市会議員のみなさんへもアンケートをとって参考にしたらいかがですか。議論を深めていくと議員さん方の意識等が重要と思われれます。	男	40 歳代
アンケートの結果を確実に反映させ、しっかり市財政を見直して、市民に不満を感じさせぬようよりよい市政に頑張らなさい。市役所の駐車場等行っても不快なことが多い。	女	40 歳代

鹿児島市内でも市バスが通らなくて他社のバスを利用するため料金がかかる。鹿児島市も広がったため休日在宅医が遠くてこまることがある。市電は乗換券がもらえるが市バスも乗り換え券があったら助かります。	女	40 歳代
いろいろ意見があって大変かと思いますが頑張ってください、よろしく願います。	女	40 歳代
市電の運転手の態度が悪いので何とかしてください。市電を乗るために走っている人がいるのに無視して運行。ミラーで確認をしてないとかいけません。後耳さわりの偉そうな言い方の運転手。一部の運転手のせいで市電の運転手が一番公務員の中で怠慢しているとしか思えません。後、全公務員の給料を開示してください。税金の使われ方を明確にしてください。住民税が高すぎる。国保税が高すぎ。鹿児島は生活しづらいです。	男	50 歳代
鹿児島という地域の特性としていつも思うが、保守的考えが強い為、革新的考えが生まれにくい体質があり、いつも他県・他市の考えを参考にする二番煎じの考えで特に代わり映えがしない、そういう体質を打破して、もう少し建設的で時代の先端を走る様な考えを取り込んで欲しいものです。	男	50 歳代
鹿児島市の高い住民税を納入しています。自宅付近は区画整理の行われる様子もありません。ゴミは錯乱しています。夜は暴走族のたまり場です。大変悲しい税金の使われ方がされていませんか？例えば「箱物」多すぎ！！	男	50 歳代
パソコンなど置いていない。	女	50 歳代
市民の声を聞くことは、ありがとうございます。	女	50 歳代
年金は下がるばかり少ない年金で生活していくのは大変です。高齢者でも住める市営住宅でもあればいいのですが、なかなか当たらず少ない年金で家賃をはらっていくのはとても大変、何の楽しみもありません。	男	60 歳代
税などの納付金の支払いをクレジットカード対応にして欲しい。(コンビニ等で) 銀行、郵便局になかなか行けない場合もあります。	男	60 歳代
あまり関心がなくてすみません。	男	60 歳代
毎日お疲れ様でございます。酷しい暑さの中、節電で大変でしょう。お元気でこの夏を乗り切りましょう。	女	60 歳代
パソコンなど持っていません。しかし日常頻繁に用語解説欄にある見たり聞いたりします。おかげでよく理解できました。ノートに移して勉強することにしました。	女	60 歳代
都市計画、道路整備予定状況について知りたい	女	60 歳代
時々考えさせられる事が多くありました。子どもたちの未来が明るい未来であるように願う事でした。お疲れ様です。	女	60 歳代
鹿児島市となってから田舎の良い所が少なくなっている。なかなか近所でも出会う事が少ない。	女	60 歳代
「市民のひろば」をととても楽しみにしております。	女	60 歳代

《その他》アリーナを利用している者ですが、駐車料金300円を支払いして又体育館の使用料を支払う現状である。県民交流センターは券は印鑑を押してもらえば無料になる。市の方も使用料を払う者は100円の駐車料もしくは無料とか検討頂きたい。住民税もかなり支払っていますのでよろしく！	女	60 歳代
市民の意識調査としたは形式的に軽いのでは。税金を使う調査なのかと思う。	男	70 歳代
町内会の回覧はマンネリだし、見るべき物が少なくもったいない上、面倒です。	男	70 歳代
この頃生活も大変ですが、中高学年のマナーとか常識を教えてもらいたい。幼、小学生にとっても悪い影響をあたえている様子をよくみます。親達は仕事も大事ですが、お金を他人にあたえ、子供を見てもらい、そこになんとすごく疑問を抱くようになってきている今日今頃です。 小学生になるまでは、愛情を持って常識を教えてもらいたい。 近辺には大学生が住んでいますが本当頭はずぐれていると思いますが、私から見て、その態度ちょっと私には悲しくなりますね。	男	70 歳代
今年で80歳になるのですが年金の掛金が足りなくて年金をもらっていません。老齢年金を少しでももらえるように出来ないのですか。市長、お願いします。	男	70 歳代
本人に知的障害があるため、回答不可。	女	70 歳代
不満なく過ごしています。	女	70 歳代
とにかく現代のスピード時代についていけません。	女	70 歳代
全部無記入！	女	70 歳代
住宅情報 年金生活者には家賃が高く生活が大変です。仮設住宅のようなので家賃が安いといいと思います。市営の住宅を増やしてほしいです。	女	70 歳代
みなさんパソコンで調べて各施設に電話などで問い合わせをしていると思うが、私の経営している美容室に多い時は日に5件も間違い電話がかかってくる。仕事に支障がでる。間違えないようゴロ合わせも記載するとか対策をとっていただきたい。	女	70 歳代



IV. 資料 調査票



鹿児島市の情報化に関する市民意識調査

■この調査について

この調査は、新たに取り組む情報化施策に市民の皆さんのご意見を十分に反映させるために実施するものです。

この調査をお願いする方は、18歳以上80歳未満の市民の皆さんから無作為に選ばせていただきました。

アンケート用紙は無記名で、調査結果は統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答くださいますようお願いいたします。

■ご記入に当たってのお願い

1. この調査は、封筒のあて名の方がご回答ください。ご本人による記入が難しい時には、周りの方が代わりにご記入下さい。
2. ご回答は、それぞれの質問に関してあらかじめ用意された項目（選択肢）の中から、当てはまる番号に○印をつけてください。また（ ）内にはできるだけ具体的にご記入ください。
3. 本アンケート中に使われている用語については、表紙の裏に用語説明を記載しておりますのでご利用下さい。
4. このアンケート用紙及び返信用封筒には住所・氏名を記入していただく必要はありません。また、切手を貼っていただく必要もありません。
5. ご回答いただいたアンケート用紙は、記入もれがないかご確認のうえ、同封してある返信用封筒に入れ、平成23年8月17日(水)までにご投函くださいますようお願いいたします。

※パソコンからご回答いただくこともできます。

パソコン用URL <http://bit.ly/pVpzwX>

※このアンケートで知り得た情報の秘密は厳守します。なお、統計的な処理が終わりましたら、アンケート用紙は破棄させていただきます。

■お問合せ先

鹿児島市情報システム課 IT推進係

住 所：〒892-8790 鹿児島市山下町11番1号

電 話：099-216-1115（直通）

FAX：099-216-1117

E-mail：jousys06@city.kagoshima.lg.jp

【用語説明】

用語	説明
タブレット型端末	iPad（アイパッド）など、平板状の外形を備えタッチパネル式などの表示／入力部を持った携帯端末。
スマートフォン	iPhone（アイフォン）やGalaxy（ギャラクシー）など、携帯電話機能と本格的なネットワーク機能を始めとするパソコンと類似の機能を持つ多機能携帯端末。

I S D N回線	N T Tが提供する総合デジタル通信サービス。データ転送速度は64Kbps。 （※bpsは通信回線などのデータ転送速度の単位。）
D S L回線（A D S L）	既存の電話回線を利用する高速インターネット接続サービス。 データ転送速度は最大数Mbps～数十Mbps程度。
光回線	光ファイバケーブルを利用した超高速インターネット接続サービス。データ転送速度は最大100Mbps～1Gbps程度。

チャット	インターネットを利用して、リアルタイムで文字をタイプし、会話をすること。
電子掲示板	インターネット上に開設された掲示板。様々な利用者によって情報の書き込みや閲覧をすることが可能。BBSとも言う。
地域ポータルサイト	インターネットを通じて地域のイベント情報や生活情報などを、官民を問わず一元的に提供するサイト。
S N S （エスエヌエス）	ソーシャル ネットワーキング サービスの略。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のサービス。代表的なものにmixiやGREE、Face bookなどがある。
ブログ	ウェブログの略。ホームページよりも簡単に個人のページを作成し、公開できる。個人的な日記や個人のニュースサイトなどが作成・公開されている。
T w i t t e r （ツイッター）	「ツイート(tweet)」と呼ばれる短文を投稿したり、閲覧できるコミュニケーション・サービス。
メールマガジン	メールアドレスを登録した読者に向けて電子メールで情報を配信する。

オンラインゲーム	ネットワークを介して複数の人が同時に参加・利用できるコンピュータゲーム。
ダウンロード	ネットワーク上の他のコンピュータにあるデータ等を、自分のコンピュータへ転送し、自分のコンピュータに保存すること。
電子マネー	インターネット上の電子商取引等で利用される、貨幣価値を電子化したものの総称。
ネットオークション	インターネット上で物品の売買をオークション形式で行うサービス。
ネットバンキング	インターネット上に開設されたサイトを利用して、振込・残高照会等、各種銀行手続を行うこと。
ネットトレード	インターネットを利用して株式等の取引をすること。オンライントレードとも言う。
テレワーク	情報通信機器を利用して、自宅などで仕事を行う勤務形態。
番号制度	国が国民生活を支える社会的基盤として導入を検討している、社会保障・税に関わる番号制度のこと。

☆はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。なお、それぞれの項目は統計処理する際に必要な項目ですので、すべての項目について記入もれがないよう、お願いいたします。

■性別

1. 男

2. 女

■年齢（平成23年4月1日現在）

1. 18歳～19歳

4. 40歳～49歳

7. 70歳～79歳

2. 20歳～29歳

5. 50歳～59歳

3. 30歳～39歳

6. 60歳～69歳

■職業（兼業の場合は収入の多い方に○印をつけてください。）

1. 農林水産業

5. 会社役員

9. 無職

2. 自営業（農林水産業以外）

6. パート、アルバイト

10. その他（ ）

3. 自由業（芸術家、弁護士など）

7. 学生

4. 会社員、公務員

8. 家事従事者（専業主婦など）

■居住地（2ページの「地域区分と所属町丁目の対照表」を参照してください。）

1. 中央地域

6. 谷山北部地域

11. 吉田地域

2. 上町地域

7. 谷山地域

12. 喜入地域

3. 鴨池地域

8. 伊敷地域

13. 松元地域

4. 城西地域

9. 吉野地域

14. 郡山地域

5. 武・田上地域

10. 桜島地域

※不明な場合は、お住まいの町名をお書きください。（例：山下町）

（ ）

【 地域区分と所属町丁目の対照表 】

番号	地域区分	所属町丁目
1	中央地域	名山、平之、東千石、西千石、中、金生、照国、泉、住吉、堀江、大黒、呉服、新、船津、城南、松原、南林寺、甲突、錦江、新屋敷、樋之口、山之口、千日、加治屋、中央、上之園、上荒田
2	上町地域	坂元、西坂元、東坂元1～4丁目、清水、祇園之州、鼓川、池之上、稻荷、春日、柳、浜、上竜尾、下竜尾、冷水、長田、大竜、上本、小川、本港新、易居、山下、城山、玉里団地1～3丁目、若葉、吉野の一部（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松）
3	鴨池地域	高麗、荒田1～2丁目、与次郎1～2丁目、下荒田1～4丁目、天保山、鴨池新、鴨池1～2丁目、唐湊3～4丁目、郡元、郡元1～3丁目、南郡元、東郡元、真砂、真砂本、三和、南新、日之出、紫原1～6丁目、西紫原、宇宿、桜ヶ丘7～8丁目、宇宿1～9丁目、中央港新、新栄、向陽2丁目
4	城西地域	城山1～2丁目、新照院、草牟田、草牟田1～2丁目、玉里、永吉1～3丁目、明和1～5丁目、原良、原良1～3丁目、薬師1～2丁目、城西1～3丁目、鷹師1～2丁目、常磐、常磐1～2丁目、西田1～3丁目
5	武・田上地域	武1～3丁目、唐湊1～2丁目、紫原7丁目、向陽1丁目、広木1～2丁目、田上、田上1～8丁目、田上台1～4丁目、西別府、武岡1～6丁目、西陵1～8丁目、小野の一部（西ノ谷）
6	谷山北部地域	五ヶ別府、星ヶ峯1～6丁目、皇徳寺台1～5丁目、山田、中山、中山1～2丁目、自由ヶ丘1～2丁目、桜ヶ丘1～6丁目、小原、魚見、東谷山1～7丁目、清和1～2丁目、希望ヶ丘、小松原1～2丁目、東開
7	谷山地域	上福元、谷山中央1～7丁目、下福元、慈眼寺、谷山塩屋、和田、和田1～2丁目、平川、卸本、南栄1～6丁目、七ツ島1～2丁目、谷山港1～3丁目、錦江台1～3丁目、坂之上1～8丁目、光山1～2丁目
8	伊敷地域	伊敷、伊敷1～8丁目、伊敷台1～7丁目、西伊敷1～7丁目、千年1～2丁目、花野光ヶ丘1～2丁目、下伊敷、下伊敷1～3丁目、小野（西ノ谷を除く）、小野1～4丁目、犬迫、小山田、皆与志
9	吉野地域	岡之原、緑ヶ丘、川上、下田、吉野（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松を除く）、大明ヶ丘1～3丁目
10	桜島地域	桜島赤水、桜島赤生原、桜島小池、桜島西道、桜島白浜、桜島武、桜島藤野、桜島二俣、桜島松浦、桜島横山、新島町、野尻、持木、東桜島、古里、有村、黒神、高免
11	吉田地域	西佐多、東佐多、本城、本名、宮之浦、牟礼岡1～3丁目
12	喜入地域	喜入瀬々串、喜入中名、喜入生見、喜入前之浜、喜入、喜入一倉
13	松元地域	石谷、入佐、上谷口、直木、春山、福山、松陽台、四元、平田
14	郡山地域	花尾、有屋田、川田、郡山、郡山岳、西俣、東俣、油須木

< 1 > あなたの世帯での情報通信機器の保有状況、利用状況についておたずねします。

問1. あなたの世帯ではご家族のどなたかが過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 利用したことがある

2. 利用したことがない

* パソコンからの利用のほか、携帯電話、PHS、ゲーム機等あらゆる機器からの利用を含みます。

* 個人的な利用だけでなく、仕事上での利用等あらゆる場合を含みます。利用場所については、自宅、外出先等あらゆる場所が該当します。

* 図書館・インターネットカフェ等にあるご家庭保有以外の機器からの利用を含みます。

問2. (1) あなたの世帯では、次の情報通信機器を保有していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。（ご家族のうち、どなたかが保有しているものも含めます。）

1. 自宅のパソコン（2のタブレット型端末は除く）
2. iPadなどのタブレット型端末
3. 携帯電話（4のスマートフォンは除く）
4. iPhoneなどのスマートフォン型の携帯電話
5. PHS
6. カー・ナビゲーション・システム
7. ファクシミリ（FAX）
8. ケーブルテレビ
9. インターネットに接続できるテレビ
10. インターネット対応型家庭用ゲーム機
11. 地上デジタルテレビ（地デジチューナー内蔵のレコーダー等と接続されているテレビも含む）
12. その他

(2) (1) で「1. 自宅のパソコン」を選んだ方におたずねします。

「自宅」で「パソコン」を使ってインターネットに接続している場合、どのような回線で接続していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| 1. 電話回線（ダイヤルアップ） | 6. 光回線 |
| 2. ISDN回線 | 7. DSL回線（ADSLなど） |
| 3. 携帯電話回線 | 8. わからない |
| 4. PHS回線 | 9. その他（ ） |
| 5. ケーブルテレビ回線（CATV回線） | |

* 「3. 携帯電話回線」、「4. PHS回線」はパソコンに接続して使う場合であり、それぞれの端末のみでインターネットを利用する場合は含みません。

「6. 光回線」を選択しなかった場合は（3）にもご回答ください

(3) (2) で「6. 光回線」を選択しなかった方におたずねします。

光回線を導入しない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 通信料が高い | 5. 自宅であまりインターネットを利用していない |
| 2. 回線工事に手間が掛かる | 6. 現在の回線でも不自由を感じない |
| 3. 居住地域において光回線が提供されていない | 7. 手順が分からない |
| 4. 住宅環境により光回線を導入できない | 8. その他 () |

< 2 > あなたのご自身の情報通信機器の利用状況についておたずねします。

問3. 過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 利用したことがある → 問4へ | 2. 利用したことがない → 問4の(5)へ |
|--------------------|------------------------|

* パソコンからの利用のほか、携帯電話、PHS、ゲーム機等あらゆる機器からの利用を含みます。

* 個人的な利用だけではなく、仕事上での利用等あらゆる場合を含みます。利用場所については、自宅、外出先等あらゆる場所が該当します。

* 図書館・インターネットカフェ等にあるご家庭保有以外の機器からの利用を含みます。

問4. 問3で「1. 利用したことがある」を選んだ方におたずねします。

(1) 過去1年間に、どのような機器でインターネットを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. パソコン（自宅以外のもも含むが、2のタブレット型端末は除く） | |
| 2. iPadなどのタブレット型端末 | |
| 3. 携帯電話（4のスマートフォンは除く） | |
| 4. iPhoneなどのスマートフォン型の携帯電話 | 7. インターネットに接続できるテレビ |
| 5. PHS | 8. インターネット対応型家庭用ゲーム機 |
| 6. ケーブルテレビ | 9. その他 |

(2) 利用した場所に関係なく、インターネットをどれくらいの頻度で利用しましたか。

利用したことのある情報通信機器ごとに、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

利用頻度	パソコン	タブレット型端末	携帯電話	その他
毎日1回以上	1	1	1	1
週に1回以上	2	2	2	2
月に1回以上	3	3	3	3
それ以下	4	4	4	4

* 「携帯電話」にはスマートフォンやPHSで利用した場合も含みます。

(3) 主にインターネットを利用する場所はどこですか。利用したことのある情報通信機器ごとに、下の1～10の中から当てはまる番号すべてを記入してください。

「10. その他」を選択した場合は、下欄の()内にその場所をご記入ください。

パソコン	タブレット型端末	携帯電話	その他
()	()	()	()
1. 自宅	5. 空港・駅	9. ホテル等の宿泊施設	
2. 学校	6. 移動中の交通機関内	10. その他 ()	
3. 職場	7. 飲食店 (8以外)		
4. 公共施設	8. インターネットカフェ		

*「携帯電話」にはスマートフォンやPHSで利用した場合も含まれます。

(4) どのようなインターネットのサービスを利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 個人のホームページ(ウェブ)・ブログの閲覧
2. 企業・政府等のホームページ(ウェブ)・ブログの閲覧
3. 電子メールの受発信(メールマガジンは除く)
4. 電子掲示板・チャットの利用
5. 動画投稿サイトの閲覧・投稿
6. Twitterの閲覧・投稿
7. メールマガジンの受信
8. SNS(mixi GREE Facebookなど)の利用
9. ホームページ(ブログは除く)の開設・更新
10. ブログの開設・更新
11. 電子ファイルの交換・ダウンロード
12. インターネットオークション
13. 電子政府・電子自治体の利用(電子申請、電子申告、電子届出)
14. 商品・サービスの購入・取引(15と16は除く)
15. デジタルコンテンツ(音楽、映像、ゲームソフト、電子書籍等)の入手・聴取
16. 金融取引(ネットバンキング・ネットトレード等)
17. クイズ・懸賞応募
18. アンケート回答
19. オンラインゲームへの参加
20. 通信教育の受講
21. 在宅勤務(テレワークなど)
22. 就職・転職関係(求人情報、採用応募等)
23. 地図情報提供サービス(乗換、ルート検索等も含む)
24. その他 ()

(5) 問3で「2. 利用したことがない」を選んだ方におたずねします。

今後インターネットを利用したいと思いませんか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 今後利用したいと思う
2. 今後も利用したいと思わない
3. わからない

問5. すべての方におたずねします。インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 特に不満は感じていない | 9. 接続速度が遅い |
| 2. 個人情報の保護に不安がある | 10. 認証技術の信頼性に不安がある |
| 3. ウィルスの感染が心配である | 11. 情報検索に手間がかかる |
| 4. 電子的決済手段の信頼性に不安がある | 12. 必要な情報がない |
| 5. 違法・有害情報が氾濫している | 13. 利用する必要がない |
| 6. 通信料金が低い | 14. わからない |
| 7. パソコンなどの機器が高価すぎる | 15. その他 () |
| 8. パソコンなどの機器の操作が難しい | |

< 3 > 鹿児島市からの行政情報の発信についておたずねします。

問6. あなたは、鹿児島市が発信する行政情報を、現在、どのような方法で入手していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 市が発行する広報紙（市民のひろばなど）
2. 市のホームページ（パソコン版）
3. 市のホームページ（携帯電話版）
4. 市の機関が発信しているTwitterやメールマガジン
5. 市民便利帳
6. 市役所、公共施設に電話などでの問合せ
7. テレビ
8. ラジオ
9. 新聞、タウン情報誌、フリーペーパーなど
10. 家族、知人からの口コミ
11. 町内会の回覧
12. 特に情報を得ていない
13. その他 ()

(2) (1) のパソコン版で「1. ある」を選んだ方におたずねします。

ホームページの満足度について、次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(3) (2) で「4. やや不満」、「5. 不満」を選んだ方におたずねします。

満足できない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 最新の情報が
ない | 5. 表示が遅い
(時間帯) |
| 2. 必要な情報が
ない | 6. みづらい |
| 3. 興味のある情報が
ない | 7. その他 () |
| 4. 情報がどこにあるか
分からない | |

(4) (1) の「携帯電話版」で「3. ある」を選んだ方におたずねします。

ホームページの満足度について、次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(5) (4) で「4. やや不満」、「5. 不満」を選んだ方におたずねします。

満足できない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 最新の情報が
ない | 5. 表示が遅い |
| 2. 必要な情報が
ない | 6. みづらい |
| 3. 興味のある情報が
ない | 7. その他 () |
| 4. 情報がどこにあるか
分からない | |

問9. 鹿児島市のホームページについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。

--

< 4 > 鹿児島市が行う情報化への取組についておたずねします。

問10. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上や地域の活性化を目指しています。あなたは、どのような施策に情報通信技術を活用するべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。

1. 地域コミュニティ活動支援（市民参画への活用）
2. 情報公開の推進
3. インターネットによる申請届出やコンビニでの証明書交付の導入など
4. 電子マネー・クレジットカードなどによる税、使用料、手数料等の支払い
5. メールマガジンの発行
6. 環境対策
7. 観光の活性化（観光関連ホームページの充実など）
8. 経済の活性化（中小企業への情報化支援など）
9. 国際交流の推進（外国語版ホームページの充実や外国語対応など）
10. 子育てに関する情報提供や支援の充実
11. 高齢者や障がい者福祉の充実（介護サービスを含む）
12. 健康・医療サービスの充実
13. 危機管理・防災の充実
14. 教育の情報化（情報通信技術を活用した授業の実施など）
15. 生涯学習の充実（パソコン講座の充実など）
16. 交通環境の充実
17. 特にない
18. わからない
19. その他（）

問11. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じることがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる
2. 個人情報漏えいしプライバシーが侵される
3. ネットワーク犯罪が増加する
4. 子どもが教育上好ましくない情報に接する
5. 人と人とのふれあいが少なくなる
6. 情報が氾濫し、振り回される
7. パソコンなどを使うことでストレスがたまる
8. 情報通信技術の進展のスピードが速くてついていけない
9. 新しい機器の購入やサービスの加入など経済的負担が増加する
10. 特に不満・不安はない
11. わからない
12. その他（）

問12. 現在、国の機関において、情報通信技術を活用した以下の取り組みが検討されていますが、その中で鹿児島市には、どのような取り組みが特に必要であると思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。

1. インターネットやコンビニなど、行政の窓口以外で申請届出や証明書が入手できる
2. 番号制度を利用することで、保険や税、年金など申請手続きの簡素化や効率化を図る
3. 個人情報保護に配慮した上で、2次利用可能な形で行政情報を公開する
4. 高齢者等に対する在宅医療・介護、見守り支援等を推進する
5. 学校教育・生涯学習の情報化を推進する（デジタル教材や電子書籍の導入など）
6. ブロードバンドサービスを活用し、医療・教育などのサービスを向上させ、地域の活性化をはかる
7. 地域の中小企業や農業などの活性化を図る
8. 災害や防犯情報を共有し、インターネットなどで情報提供を進める
9. 環境への配慮と省エネ化を進める
10. わからない
11. その他（）

問13. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

※ ※ ※ ※

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、8月17日(水)までにご投函ください。